



伊藤音次郎日記

1920(大正9)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成30)年6月

* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼表紙2の続き▲▼

大正九年

▲▼2ページ▲▼ 大正九年要記

陸軍仕事始メルコト

一月 百五十馬力完成

二月 ジヤイロ製作 ニサイクル同上

三月 ニサイクル完成 収入飛行ヲ開始スル件

四月 ジヤイロ完成

▲▼3ページ▲▼ 一月

百五十馬力完成セシムル件

塗料実験

リバーティー着確定ノ上下坂ノコト

▲▼4ページ▲▼ 大正9(1920)年1月1日(木)

天気 晴

時事 井上仁郎閣下死去 午前四時

晴午後風

四時起床 四方拝後一同ト祝フ 晴レ々々トシタ好昇天ヲ見ル 人数ハ少ナカッタガ

気持チヨカッタ 八時頃山県佐野以下來ル

十時頃ヨリ千葉白戸へ吉同道ニテ行ク 夕方帰ル

所員多ク上京 夜九時頃帰ル

▲▼5ページ▲▼ 大正9(1920)年1月2日(金)

天気 晴

朝夕ニテ後藤君練習 直線後旋回飛行ヲナス

晝食後後藤君ト上京 共ニ食事ヲナス 日比谷ニテ分レ鳥飼氏ニ行ク 阿部來リ共ニ夕

食ヲ馳走ニナル 井上閣下昨朝四時流行性憾(ママ)冒ニテ死去セラルトノコト阿部ヨリ

聞ク 八時十分ニテ帰ル 花ヲ少時ナシ十一時眠ル

▲▼6ページ▲▼ 大正9(1920)年1月3日(土)

天気晴

時事 第二鶴羽引渡シ

朝二番ニテ鳥飼氏杉本同道ニテ來 後藤君練習 鶴羽山県飛行 二機雁行シテ稲毛
ニ行キ帰リテ山県宙返ル 鶴羽鮮人金氏ニ引渡シ荷造ヲナシ預ル 晝食後写真ヲ取り
帰ル

▲▼7ページ▲▼ 大正9(1920)年1月4日(日)

天気晴

終日帳簿決算ヲナス 夜業モナス

▲▼8ページ▲▼ 大正9(1920)年1月5日(月)

天気晴

今日帳簿整理中白戸君夫妻來 夕方帰ル

▲▼9ページ▲▼ 大正9(1920)年1月6日(火)

天気晴

徳永氏へ年賀方々格納庫ノ話シラスベク行ク 上京セリトノコトニ二三用ヲナシ帰ル
後千帳簿決算ヲナス

▲▼10ページ▲▼ 大正9(1920)年1月7日(水)

天気晴

時間ヲ間違エ女中ト吉ハ三時カラ起キテ居タ 七時九分ニテ上京 佐藤へ板金注文
宮本組へ酸素瓶注文 四百ノ注文未着 ラジエターノコトヲ頼ム
十一時井上閣下ノ葬儀ニ列ス 終ツテ代々木ノ格納庫ヲ見ニ行ク マダシツカリシテ居
タガ廻リガ駄目デアッタ 屋根ハ半分位ヒツカエルダロウ 新宿ニテ晝食後帰ル 五時帰
宅

▲▼11ページ▲▼ 大正9(1920)年1月8日(木)

天気 晴

決算終ル

昨日一昨日不養生ノ爲メカ疾病大ニ進ム 痛ミヲオボエ血沢山ニ出ス
夜太田來 長谷氏十日頃出立ストノ電ヲモタラス

▲▼12ページ▲▼ 大正9(1920)年1月9日(金)

天気 晴

ウララカナ晴天ナリキ。養生ノ爲メ終日床ニテ温マル 大ニヨクナル
関口帰ル

志賀潔氏ヨリ來信アリ 大ニツカシクスグ返出ス

▲▼13ページ▲▼ 大正9(1920)年1月10日(土)

天気 晴

関口本日ヨリ練習始メル

阿部ヨリ手紙來 斯瓦(ママ)電氣明後日森星子氏ト會見ノ約ナリ ロールスロイス見セ
ルトノコト 山県同道シテ呉レトノコトデアッタ
銅工幸サン來テ呉レタ 二人ニテ宿ヲ別ニ取ル

▲▼14ページ▲▼ 大正9(1920)年1月11日(日)

天気 晴

格納庫ノ件ニテ徳永氏ヲ訪フ 代々木ノ方ハダメダガ所沢ノ方ナラ話ガマトマルダロウ
トノコトデアッタ

白戸ニヨリ小栗氏ノ飛行機ヲ見ル 夕方帰所 鳥飼高橋氏來テ居タ
新年飛行十五日ニ決定ス

▲▼15ページ▲▼ 大正9(1920)年1月12日(月)

天気 曇リ雨

九時四十分ニテ上京 鳥飼ニ行ク

佐藤ニ立寄りボールトトワイヤーヲ返ス 宮本組ニモ立寄ル

一時半ヨリ阿部ト瓦斯電氣ノ森氏ニ會フ 多忙ニテ同行不能 名刺ヲ貰ヒ大森ニ行ク
星子氏ニ面會 工場ヲ見ル 夕方辭シテ帰途品川ニテ夕食 鳥飼ニ立寄ル。作振會幹
事會アリ 一寸話シヲ聞イテ十時ニテ帰ル

▲▼16ページ▲▼ 大正9(1920)年1月13日(火)

天気 晴風

雲ガ晴レルト風ニナリ夜三十米突以上三達ス 各地被害アリタル由
山県後藤ホールスカット組立ヲナス

▲▼17ページ▲▼ 大正9(1920)年1月14日(水)

天気 晴風

今日ハ風強シ

全員手分ケシテホールスカットノームノ組立ヲナス ノームシリンダー又破レオリシ爲メ
自分白戸ニ行キシリンダー一本借リテ帰ル ホールスカットノームマダプレン乗ラズトテ
モ間ニ合ヒソウモアラス タ方太田ヲ上京セシム
夜十一時半帰リテ延期不可能ノ由ヲツゲ來ル時風又ツヨシ イヅレハ明早朝ノコトニシ
テ床ニ入ル

▲▼18ページ▲▼ 大正9(1920)年1月15日(木)

天気 晴

風尚ヤマズ サレドモ早朝ホールスカットヲ組立テル 東京ヨリ使アリ 明日一台デモ出
セトノコトニ兎ニ角今日ノ模様ヲ話スベク小栗氏ト自動車ニテ上京ス 鳥飼ト行違ニナ
リスグ引返シ余ハ目ガオカシイノデ尚千葉ニ行キ仁山堂ニテ見テ貰フ 別ニナントノコト
モナイトノコト 小栗白戸氏ト夕食ヲ共ニス 徳永氏來 余ハ先キニ失敬シテ帰ル

▲▼19ページ▲▼ 大正9(1920)年1月16日(金)

天気 晴

絶好ノ飛行日和 七時九分ニテ上京 矢島ニ立寄り同道シテ場ニ行ク 鶴羽ノミニニテ
後藤來ラズ 發動機悪シトノコト 後藤君ニ氣ノ毒ナリキ 小栗氏十一時頃漸ク來リ
カクテヤットお茶ヲニコスコトヲ得タリ 今日ノメヅラシキハ星野、馬詰ナリキ 三時頃
先キニ帰途ニツク
小栗君モ來テ居タ 暗クナツテ格納庫ニ入レル 大坂ヨリ電アリ ミネ姉キトクスグ帰レ
トノコトニ如何トモシガタク明一番ニテ出發スルコトニス

▲▼20ページ▲▼ 大正9(1920)年1月17日(土)

天気 晴

四時半起床 五時四十四分ニテ出發 東京八時半發 九時大坂着 スグタクシーヲ飛
バシテ西ノ宅ニ到ル イマダ死セズトノコトニ安心ス 余ノ顔ヲ見ルヤ嬉(ママ)ビノ色ヲナ
シニヶ月間遊ビニ行クト云ヒタク兄ヤ姉ノ言ニ非常ニ待チ居タルト共ニ余ノ許ニ遊ビニ
行クコトヲ樂ミ居タリト 今夜ハ皆ニカワリ余看病ス 午前三時頃病人ハ少シク目ヲト
ジタレ共深ク眠ラズ時々旨輪ヲヌキカケ或ハ錢入ヲ引出シ金ノ勘定ヲナス 見レバ僅ニ
五十錢ト十錢ノ札 外ニ白銅貨數枚アルノミ アワレニ堪エザリキ 夜明ケ頃苦シキ
カ両手ニ出シテ余ノ手ニスガリ水ヲ求メルコトシキリナリキ
ア、今一度元シテ東京ヲ見セテヤリタク神ニ祈ル

▲▼21ページ▲▼ 大正9(1920)年1月18日(日)

天気 晴

七時頃西ヨリ帰り床ニ入ル 十一時目ヲ醒シ醫師ニ行ク 気管少シ悪シク他ニ変リナシ
トノコトニ安心ス 晝一寸西ニ行ク 大分苦シソウニシテ声ハ一切聞キ取レズ 夜空腹ニ
堪エズ帰りテ食事ヲナシ少シ眠ル 三時頃病人ガ呼ブトノコトニ四時頃ヨリ行ク 苦シ
ムコト一方ナラズ 日落チテ後チツヒニ痛ミヲウツタエザルニ至リ引ク呼吸ヲ少ナク醫師
ヲ迎ヘル 最後ノ注射モ何ノ効ナク八時四十三分ツヒニ呼吸タエル
ア、最後迄余ノ許ニ行クベク樂シミニシタリシ不幸ノ女 又カレノ如キ少ナカルベシ
延次郎死水ヲ取りタリトイエドモ彼レハノゾマザリシナルベシ
明日ノコトアリ十一時頃帰りテ床ニ入ル

▲▼22ページ▲▼ 大正9(1920)年1月19日(月)

天気 晴

朝風呂ニ入キ(ママ)散髪ヲナス 晝時秋田ニ行キ主人同道坂本ニ行ク 晝日午前中デ
ナケレバ岸本主人不在トノコトニ明後日十時ヲ約シテ帰ル
今夜十二時頃迄トギヲナス 酒ヲ過シ大ニヨウ

▲▼23ページ▲▼ 大正9(1920)年1月20日(火)

天気 晴

十時葬儀執行 十二時頃阿部野ニ自動車ニテ送ル 出棺ノ際フタヲ開キ見ルニ顔色ア
ダカモ酒ヲノンダル如ク美シキ色ヲ呈シ居タリ 廿一日夜焼クトノコト
午後西ノ内ニテ諸勘定アリ 余少シ眠ル
裏ノ藤非常ニ悪シク夜国へ打電ス

▲▼24ページ▲▼ 大正9(1920)年1月21日(水)

天気晴

八時起床 昨夜ノ内ニ鳥飼ヨリ見舞ト宅ヨリ五百蔵死去帰レトノ電アリ 死体寺ニ預ケヨアス帰ルトノ返電ヲナス
九時半坂本ニ行ク 主人ニ代理トシテ店員同道岸本ニ行 待ツコト約二十分 主人手引ケズ同将兄ニシテ同社監査役タル清次郎氏ニ面會 來意ヲ述べ後援カ事業のカイツレニテモヨシト頼ム 廿五日頃同氏上京ストノコトニ立寄ヲ依頼シテ引取ル 秋田、坂本ニ札ニ立寄り尚今後ヲ頼ム 帰途井上君ニ立寄り帰ル 兄今朝ヨリ頭痛ストテ床ニツクヤハリ流感ナリ
夕方竹島ニ行ク 十二時頃辻裏テ遊ブ

▲▼25ページ▲▼ 大正9(1920)年1月22日(木)

天気 曇後晴

七時半起床 八時半発 雪シキリニ降ル 何ンダカ大ニ縁起ガヨイ様ナ氣ガシタ 名古屋以東ハ次第二晴レ富士ナドモヨク見エタ
八時半着 両国九時十分 山県ト會フ 五百蔵ノ話シヲ聞ク 十一時帰着 入浴後食事 床ニ入ル

▲▼26ページ▲▼ 大正9(1920)年1月23日(金)

天気晴

手紙帳簿ノ整理ヲナシ晝食後千葉ニ行キ小川材木店へ木工場ノ注文ヲナス。根本ニテ机ヲ買ヒ白戸ニ寄リタル後花ヲ引キ帰ル

▲▼27ページ▲▼ 大正9(1920)年1月24日(土)

天気晴

終日帳簿整理ト仕事ノ速進ヲハカル
夜一杯ノミスグ床ニ入ル
大坂ヨリ安福見學生トシテ來場 入所ス

▲▼28ページ▲▼ 大正9(1920)年1月25日(日)

天気 晴

安福ニキールヲ作ラセル
山県後藤、稲垣夕方ヨリ千葉ニ行ク 自分テールヲヤル
青島国へ帰ル 神経衰弱ノ爲メ
五百蔵ノ遺族來ル 勘定ヲ終ル

▲▼29ページ▲▼ 大正9(1920)年1月26日(月)

天気 晴

自分テールプロペラ等ヲヤル
五百蔵安岡国元ニ感冒アリ帰国ス
夕方一寸四期生ノ練習ヲナス
山県後藤大井ニ行ク
稲垣氏昨夜ヨリ発病 今朝三十八度六分 夕方卅九度ニ昇ル 醫師ヲ迎ヘル 大シタコトナシトノコトニ安心ス
新潟ヨリ伊藤某來 身元引受人ナク入所シタシトノコト コトワル。叔父へノ手紙ヲ書イテ呉レトノコトニ書イテヤル

▲▼30ページ▲▼ 大正9(1920)年1月27日(火)

天気 晴

感冒予防注射ニ船橋へ行ク 一時帰ル 稲垣氏大ニヨク夕方ヨリ兵頭又少シク悪シクナル
夜角田氏來津 車夫ヲ使ニヨコサル 明朝面談ヲ約ス
午後戸川君外一名來 夕食後帰ル 一両日中ニ神戸ニ行ク由
稲垣氏ノ父君來 夕方帰ラル
小栗君飛行機ヲ取りニ來ル 千葉へ行ク

▲▼31ページ▲▼ 大正9(1920)年1月28日(水)

天気 薄曇

プロペラヲハリ余ハエレロンヲ組ム
夕方練習猛烈ニヤル 元志モヤッタトカ

▲▼32ページ▲▼ 大正9(1920)年1月29日(木)

天気 雨

終日雨 吉半日床ニツク 頭痛ナリト

余エレロンヲツクル。午後讀書

佐野風ニテ寝ル 大シタコトナシ 見舞フ

▲▼33ページ▲▼ 大正9(1920)年1月30日(金)

天気 晴

機体カバーノ下地ヲ作ル

午後白戸來。小栗ノ飛行學校ヲ手傳フコトニナツタニツイテ想(ママ)談デアッタ サン成シテ居ク 尚明日來ルトノコトデアッタ

▲▼34ページ▲▼ 大正9(1920)年1月31日(土)

天気 晴

朝白戸來 共三千葉ニ行ク 又四郎へ立寄り材木汽車便ニ依頼シ吾妻俱樂部ニテ晝食丸子、勘弥ヲ呼ブ 四時頃帰途ニツク 夜山県、佐野ヲ集メ昨年下半年ノ経過ヲ語り今年ノ予定ヲナス

▲▼35ページ▲▼ 補遺

一月ハ一モ予定ヲ実行シ得ズ 二月奮勵ヲ要ス
姉ノ死ハ意外ノ意外ナリキ

▲▼36ページ▲▼ 二月

百五十試験飛行ヲナスコト
リバーテーター製作ノ方法ヲ確定スルコト
ジヤイロ、ニサイクル製作ニ着手スルコト
木工場ヲ作ルコト

▲▼37ページ▲▼ 大正9(1920)年2月1日(日)

天気 曇リ

此附近正月ナリ

助手初メテ練習セシム 自分モ久シ振りニ海ニ出ル 高木東太郎氏來 晝食後二時頃
歸ル

稲垣氏大ニヨシ 夕方見舞フ

▲▼438ページ▲▼ 大正9(1920)年2月2日(月)

天気 雨

百五十機体ヲヤル

山本幸助氏死ノ悔ミト香料ヲ送ル

▲▼439ページ▲▼ 大正9(1920)年2月3日(火)

天気 曇リ

ニサイクル設計製圖ヲナス

角田紀十郎六日神戸海岸通り三丁目蓬萊屋ニテ待ツトノコト 夕方白戸へ報告ス

▲▼440ページ▲▼ 大正9(1920)年2月4日(水)

天気 曇リ

久保田ホールスカット直線ヤリソコネテ大破ス

自分ニサイクル製圖 木工全部出來上リ金物ノ圖ニカゝル

夕方白戸來 明日神戸へ出發 金少シ足りナイトノコト 隔(ママ)通スルコトニス

飛行協会小林、戸田両大佐見学ノ爲メ來場セラル

稲垣氏夕方起キテ來ラレタ

▲▼441ページ▲▼ 大正9(1920)年2月5日(木)

天気 雨

朝曇リ 局ニテ金三百円引出シ五百円ハ爲替トシテ迷川佐藤へ持参ス 桜井へ檜ヲ注文
シ銀坐ニテ買物ヲナシ鳥飼ニ行キ計算ヲナシ買物ヲ依頼シテ久光ヲ西田ニサガシタガ
知レズ 上野ト聞イテ兎ニ角白戸ニ會フベク先キニツバメニ行ク 丁度今來夕處ダトノコ
ト 夕食後上野迄電車万(ママ)員ニテテクル 大ニクタブレテ歸ル。神田ノ花子ヤン死
ダトノコト 佐野へ二十円持タセテヤル

▲▼442ページ▲▼ 大正9(1920)年2月6日(金)

天気 曇晴

ホールスカットノ修理カントクト自分ハニサイクルノ現圖ヲ引キ金物ヲ製圖ス

▲▼43ページ▲▼ 大正9(1920)年2月7日(土)

天気 曇

自分ホールスカットアールヲ作ル

稲垣氏百五十重心點

夜久保田來 請求書ヲ取りニ來タガマダ出來テ居ナカッタ 尚練習中止云々ニ付聞イテ居タガ場合ニヨリアルカモ知レヌガ其場合ニハ合議ノ上ニスト云ツテ居ク

米山米吉氏同道労働会ノ芳川氏來 東西労働会ノ合同ニ付ビラヲマイテ呉レトノコトデアッタ 機組立ノ上返事スルコトニシタ

▲▼44ページ▲▼ 大正9(1920)年2月8日(日)

天気 曇後雪

朝カラ非常ニ冷タカッタ ハタシテ正午ヨリ雪ニナリタ方スデニ五寸位ニナツテ居タ

山県上京 ホイールト木型注文ス

夜稲垣佐藤ト夕食ヲ共ニシ後チ仕事ノ予定表ヲ作ル

夜井上内藤君來 十一日普翼(ママ)ノビラマキヲ頼ミニ來タ 引受ケル 五百円呉レルトノコト

▲▼45ページ▲▼ 大正9(1920)年2月9日(月)

天気 晴

自分ホールスカット

ゴーム百廿五組立 夕方後藤君同乗試飛行ス ヨシ 労働会ハ十二日以後ナラトブト打電ス

夜十時頃井上内藤両氏又來 明日ニナツタカラトノコト 今日幸ニ試飛行終ツタカラ間ニ合フ旨返事ス 非常ニ嬉(ママ)ンデスグ帰ッタ

▲▼46ページ▲▼ 大正9(1920)年2月10日(火)

天気 晴

普撰(ママ)飛行ニツキ船橋署カラ聞合セニ來タ 有ノマヽヲ話シ午後二時出發ス 労働会明日飛行スベク今夜洲崎一泊ノコトニ決ス

然ルニ警察ノケイカイスコブル敵ニツキ夕方帰場ス 労働会ハ機ノ故障トシテコトワルコトニ打電ス

朝白戸來 晝食後上京ス

晝頃内藤氏使來 六百円持参ス

▲▼47ページ▲▼ 大正9(1920)年2月11日(水)

天気 晴風

昨夜ヨリ北西烈風アリ 小栗氏ノ飛行機如何アランカト心配ス 今日名古屋へ出發ハ勿論延期ト思ヒシニ三時頃青島ヨリオグリシツイラクトノ電アリ 丁度太田號外ヲ持チ來ル スグ見舞ノ電報ヲ打ツト同時ニ青島へ本所ヲ代表シテ手傳ニ行ケト打電ス 本日ハ紀元節ニ付早ジマイニナス

▲▼48ページ▲▼ 大正9(1920)年2月12日(木)

天気 晴風

小栗氏經過ヨシトノ電青島ヨリ來ル 本日プレ三板組立ヲナス 午後三時頃石垣君來 叔父ガ死ンダ後仕(ママ)末ノ爲メトノコト 遺産ガ五六百円アル由 先ヅ彼レノ爲メニ賀スベシ

▲▼49ページ▲▼ 大正9(1920)年2月13日(金)

天気 晴風

女智恵子ノ命日 成田山ニ石垣ヲ案内方々参拝ス 九時十八分ニ乗ル予定ノ處近道ヲセントシテ田ニ落ち骨稽ヲ喧シテ稲垣氏トハグレレ 次ギニテ千葉ニ下車 散髪ヲナシ小川ニ立寄り十一時四十分ニテ参拝 宗吾堂ニモ廻リ五時帰宅ス

▲▼50ページ▲▼ 大正9(1920)年2月14日(土)

天気 晴

時事 田中館、滋野男ノ講演會アリ 所員全部行ク

八時半ニテ石垣、元志ト上京 小川町ヨリ徒歩ニテ宮城、日比谷ヲ見、鳥飼ニ行ク 今長谷氏來タトコダトノコト 共ニ松本楼ニテ晝食後分レテ泉岳寺、乃木サン、九段、上野浅草ト見物シ八時十分ニテ帰ル

▲▼51ページ▲▼ 大正9(1920)年2月15日(日)

天気 雪後雨

朝二時程積テ居タ 終日雨ニナツタリ雪ニナツタリシテ居タ
ホールのスカット修理

▲▼52ページ▲▼ 大正9(1920)年2月16日(月)

天気 晴

晝頃鳥飼、長谷氏來 食後三時頃帰ル 長谷氏宿リガケニテ來ルトノコトデアツタ
飛行ニ関シ何シノ話シモナシ
夜山県一時間程話シテ帰ル
石垣朝上京 無事金受取り夜帰ル
後藤君ゴーハムニテ初飛行 技術妙 大ニ感心ス 山県以上ナリ

▲▼53ページ▲▼ 大正9(1920)年2月17日(火)

天気 晴

無類ノ好晴
午前飛行アリ
午後京都ノ稲垣君來 發動機ヲ頼マル 三時半ヨリ千葉ニ石垣ト行ク 材木屋へ三百
円支拂ヒ吾妻俱樂部ニ行ク 白戸ヲ呼ビ夕食後帰ル

▲▼54ページ▲▼ 大正9(1920)年2月18日(水)

天気 雨

石垣今日四時五十分東京発ニテ帰坂ス
自分ニサイクルヲヤル
稲垣氏午後上京ス
後藤君單獨ニテゴーハムニテ大ニ技量ヲ見セル

▲▼55ページ▲▼ 大正9(1920)年2月19日(木)

天気 晴

練習休 風アリ

青島午後帰ル
リバーティ―三月中到着ノ予定トノ手紙來 岸本傳太郎氏三月中頃來場ストノ手紙
來
ニーサイクル金物製圖
玉木休 山崎ニサイクル金物

▲▼56ページ▲▼ 大正9(1920)年2月20日(金)

天気 晴曇雪
植木屋二人來
仕事師三人來
時々雪降り大ニヤム

▲▼57ページ▲▼ 大正9(1920)年2月21日(土)

天気 晴
小鳥ノ大掃除ヲナス 朝太田來
ガソリンニ二十函着ス
地所買入レタ人トカ世話シタ人トカ來テ地均シテ居ルノヲアレコレ云ツタノデ大ニ
シヤクニサワテ一言苦言ヲ呈シテヤッタ 後子違ツタ人ガ丁寧ニ來テ話シテ帰ツタ 鳥
飼へ此事菅上京セシメテ報告セシム

▲▼58ページ▲▼ 大正9(1920)年2月22日(日)

天気 晴
九時四十七分發上京 亀井戸ノ日本セルロイド工業会社セルロイドクズニツイテ照介
シタ結果、原料タルセルロ―ズヲ分ケテ呉レルトノコトイ依頼シテ帰ル 佐藤ニヨリ鳥飼
ニ行ク
夜六時築地精養軒ニテ滋野氏歓迎会ヲ行フ 出席者廿四五名 貧弱デアッタ 九時
終リ鳥飼ニ立寄り十時五十分終列車ニテ帰ル

▲▼59ページ▲▼ 大正9(1920)年2月23日(月)

天気 曇リ
夜雪降ル
長谷禎三氏來 夕方ヨリ千葉ニ行キ白戸徳永氏ト夕食ヲ共ニシテ終列車ニテ帰ル 長

谷氏佐野へ泊ル
森田練習生來場ス
八木氏來場セラル

▲▼60ページ▲▼ 大正9(1920)年2月24日(火)

天気 曇少雪

時事 八幡製鉄所同盟ヒコ再発

長谷氏帯(ママ)在 夜山県佐野稻垣後藤氏ト會食

村山初五郎外二名晝前來 工事ヲ二三日待ツテ與レトノコト 大工ハ三月一日頃ヨリ
來ルトノコトニ丁度幸ヒナリ 尚昨日一昨日ニ渡リ電報或ハガキニテ鈴木ヨリ仕事中
止ノ依頼状アリタレバ今日宮崎へ鳥飼氏迄持參セシム

▲▼61ページ▲▼ 大正9(1920)年2月25日(水)

天気 晴

時事 東京電車サボタージュ初マル

帳簿整理

長谷氏朝鮮ニ於テ飛行學校自動車學校ノ件ニツキ参考書類ヲ貸シ予算ニ作製ス
日本セルロイドヨリ薄板セルロイド五百目受取ル

▲▼62ページ▲▼ 大正9(1920)年2月26日(木)

天気 晴

仕事師本日ニテ終ル

広告本日ヨリ來ル 終日工場材料シラベヲナス

白戸氏二回來

長谷氏飛行機ニテ帰京ス ゴーハム数回飛ブ

自分塗料ニ終日カゝル

菅上京セシム

村山初五郎無断ニテ庭内ノカレ木ヲ切り或ハ拾ヒ集メテ歸ル

▲▼63ページ▲▼ 大正9(1920)年2月27日(金)

天気 晴

大口來 夕方歸ル

滋野男來 夕方帰ル
塗料製作 後塗ル
給料渡ス

河村母ト八ッ橋ノ高子來ル 晝食ヲ共ニス

▲▼64ページ▲▼ 大正9(1920)年2月28日(土)

天気 雪

帳付ケヲナス

▲▼65ページ▲▼ 大正9(1920)年2月29日(日)

天気 曇後晴

上京 鳥飼ニテ遠巨(ママ)離其他飛行ノ相談ヲナス
夕方買物後帰ル

▲▼66ページ▲▼ 補遺

二月ノ予定又大ニ狂フ

三月大ニ奮勵セザルベカラズ

▲▼67ページ▲▼ 三月

リバディー着ノ予定 金策ト岸本大ニ運動ヲ起スコト 中旬帰坂

ニサイクルホゞ完成セシムルコト

百五十完成 遠巨(ママ)離飛行参加ノコト

▲▼68ページ▲▼ 大正9(1920)年3月1日(月)

天気 晴

帳簿整理

後藤君飛ブ

白戸君來 晝食後帰ル

▲▼69ページ▲▼ 大正9(1920)年3月2日(火)

天気 曇リ

塗料ヲトカス

朝菅ヲ日本セルロイドへ薄板トリニヤル 六百印貰ッテ帰ル 藤本氏不在ニテ金支拂ハズ

山崎一人仕事ス 玉木帰ラズ

帳簿整理 一月ノ決算漸ク出來ル

ホールスカットヨク廻ル

▲▼70ページ▲▼ 大正9(1920)年3月3日(水)

天気 曇リ

テール、エレベーターエレロン方向舵等小翼全部張ル

ホールスカットガンリンパイプ三分ニシテ成績大ニヨシ 山県飛ブ

後藤君休ミ

玉木午後ヨリ仕事ス

ホールスカットガンリン供給不足 小型ヘラ成績頗ルヨシ

▲▼71ページ▲▼ 大正9(1920)年3月4日(木)

天気 曇リ少雨

センタープレシヨ張り機体ヲ張ル

タンク六瓦プレシヤシテ完全ナリキ タ方仕上ル

百五十用プロペラハグ

山県上京

夜金銭整理後日記ヲ書ク 先月廿八日カラ記テナイノニ驚イタ

木工場本日ヨリ大工四人ニテ仕事ニカゝル

▲▼72ページ▲▼ 大正9(1920)年3月5日(金)

天気 晴

鳥飼へ二百円持タセテヤル

自分久シブリノ好天気ニツキ塗料ヲヌル 大多忙中 四時頃兄ヨリ來電アリ 佐渡島

甚一君死去 都合宜ケレバスグコイトノコトニ 取アエズタゞチニ出發 九時ニテ東京發

車ス

▲▼73ページ▲▼ 大正9(1920)年3月6日(土)

天気 曇雪

名古屋附近ヨリ雪トナル 大坂ハ曇リ少時雪 寒イ日デアッタ 十一時半梅田着 帰宅 兄ニ電話ニテ打合セエミス町ヨリ自動車ニテ共ニ天王寺ニ行ク 老若小各主人ニ挨拶ヲナシ阿部野迫送りテ四時頃帰ル 本日車中旅客輸送ノ草案ヲ造ル

▲▼74ページ▲▼ 大正9(1920)年3月7日(日)

天気 晴

朝井上君ヲ訪フ 同氏宅ニテ昨日ノ草案ニツキ書キアラタメル 晝食ハ井上君ト相生ニ行ク。四百馬力利用法ニツキ朝日新聞ト打合セベク数回藤木君ニ電話シタルモ不在ニテ明日ニ延期ス

▲▼75ページ▲▼ 大正9(1920)年3月8日(月)

天気 晴

兄ニ金ノコトヲ談シ、昨夜長谷氏ヨリ釜日ノアクタ川氏ニ會ツテ呉レトノ電報ニヨリ大川ノ千秋楼ニ面會ス 大正日モ重役ノ意見トシテ社トシテ尚早ノ爲メダメトナリ殊ニ陸軍ノ今日ノ飛行ニツキイツガ再ビ時期ヲ見テトノコトニテ無期延期トナル。 練兵場ニ行ク 八時四十分出發セリトノコトニ拾一時ニナルモ來ラズ ヤット十二時近クサ式ニ台通過 一時頃ソ式一台又通過 二時近クソ式一台和田中尉着陸 三時十分出發ヲ見テ帰ル 練兵場ニテ藤木君ニ旅客輸送ノ件依頼ス

▲▼76ページ▲▼ 大正9(1920)年3月9日(火)

天気 晴

金ニツキ兄ト打合セヲナシ午後佐渡島ニ行ク 來客ニテ面會オソクナルノデ會ワズニ帰ル 夜裏ニテ夕食中中島君來 共ニ食事ヲナシ新世界ヲ散歩シテ帰ル

▲▼77ページ▲▼ 大正9(1920)年3月10日(水)

天気 晴

竹島ニ行キ小一時間話シヲナシ帰ル 鳥飼氏ノ電報ニヨリ天下茶屋ニ一森君ヲ訪フ
用件ヲスマシ十二時ニテ京都ニ行キスグ久保田君ヲ尋ネル 兄ナル人ニヨリ話シヲナス
父君ニハ一寸話シテ呉レルナトノコトニ話サズ父君ハタゞ今一度改メテ宜シク頼ムトノコ
トナリキ 金ヲ受取り帰途稲垣氏ニ立寄り夕食後八時四十分ニ乗ル

▲▼78ページ▲▼ 大正9(1920)年3月11日(木)

天気 晴曇リ

八時着 鳥飼氏ニ行ク 長谷氏午後五時ニテ帰ルトノコト 晝食ヲ共ニシテ丁度買物ニ
來リタル元志ト共ニ帰ル 夕方帰宅

▲▼79ページ▲▼ 大正9(1920)年3月12日(金)

天気 雨

大工休
百五十シートブックル
午前帳簿整理

▲▼80ページ▲▼ 大正9(1920)年3月13日(土)

天気 曇リ

プレシ銀色塗料ヲホドコス 大ニ立派ニナツタ
夜一時間程帳簿ヲ記入ス

▲▼81ページ▲▼ 大正9(1920)年3月14日(日)

天気 雨

百五十ペラ塗料 カバーフチ取付
久保田午後來ル
森田昨日二十円渡ス 今日マダ帰ラズ
白戸氏來 晝食シテ帰ル

▲▼82ページ▲▼ 大正9(1920)年3月15日(月)

天気 雨

今日モ雨 白戸君來 晝食シテ帰ル

午前百五十初メテ廻ス 格納庫内ニ付三分一以上レバー引ケズ ソレデモ百二十五ニ
テ廻シ兼ネシラベテ八百以上廻シテ居タ
晝食後休ミ 佐野山県ナドト話シヲナス

▲▼83ページ▲▼ 大正9(1920)年3月16日(火)

天気 晴風

久シ振リニ風強カッタ

朝鳥飼氏來 晝食後帰ル 朝鮮飛行不成立ニツキ東京広島間飛行計畫ノ相談デアッ
タ スベテ鳥飼氏ニ一任ス
プロペラヲ塗り機体ヲ塗ル
大坂兄、竹島、佐渡島へ依頼状ヲ書ク

▲▼84ページ▲▼ 大正9(1920)年3月17日(水)

天気 曇リ

四国ノ正岡某氏來 子息入学ノ件ニツキ
大辻申込書來ル
梁瀬ヨリ屋根職人來ル
百五十プレン取付 格納庫内整理ヲナス
右プロペラ青島先キヲハガセシ爲メ佐野十二時迄夜業ス

▲▼85ページ▲▼ 大正9(1920)年3月18日(木)

天気 晴

練習アリ

ウエルトヲヤル 腹ガ痛カッタ 玉木カバー出來テ午後帰京ス

▲▼86ページ▲▼ 大正9(1920)年3月19日(金)

天気 快晴

百五十試運轉 北風強シ 直線滑走ニ回直線一回ニテ中止 機ノ工合ヨシ エレロン少
シ重キト發動機氷ルラシク午後調ベル 練習アリ
今日ハ來客日デアッタ 東京飛行機研究所ノ代理トカデ長山氏ノ件ニツキ來タガ稲垣
氏會談 大正日日写真班ト阿部晝食ス 午後馬詰來 白戸氏來。安岡ノ兄來 小田
桐新入生父ト共ニ來ル

夜百五十完成祝賀宴ヲ開ク 總數十二人 ニギヤカデアツタ

▲▼87ページ▲▼ 大正9(1920)年3月20日(土)

天気 晴

練習猛烈ニ行フ

大坂へ手紙ニ写真ヲ添エテ送ル

百五十年後一時飛行 二十五分 高度二千米突ニ達シ頗ル良好 着陸後スタートセン
トシテ火ヲ發シ、タンクノプレッシャヲヌイテヤット消火スルヲ得タリト 本所初メテノ
出來事トテ大ニ驚ク。ハイテンションコート二三本焼イタノミ 大事ニ至ラザリキ 午後
原因調査ス 多分チヨークチユーブヲ大キクシタノト發動機ヲ急激ニスローニシタリ急
回轉シタ爲ト云フコトニ帰着シタ

▲▼88ページ▲▼ 大正9(1920)年3月21日(日)

天気 晴

無類ノ好晴 休業 花壇ヲ作ル

戸川君十一時來 後藤山県稲垣氏ト晝食 夕方帰京セラル

夕方白戸來

▲▼89ページ▲▼ 大正9(1920)年3月22日(月)

天気 雨

一森アンザニー申込ム

▲▼90ページ▲▼ 大正9(1920)年3月23日(火)

天気 雨晴

曇り後雨 安岡8字飛行 着陸モ大ニヨシ

五月ヨリ月謝値上ノ件一同ニ通告ス

今日ハ製作所設立計算書ヲ作ル

右ノ記事ハ廿二日ノ分ナリ

以下廿三日記事 晴レ

井上長一氏ニ運動方依頼状出ス 兄へ五百円タノム 鳥飼ヨリ金借りニ來ル 困ツタガ

百円持タセテヤル

▲▼91ページ▲▼ 大正9(1920)年3月24日(水)

天気 曇リ

カタガコツテ終日気分悪シカッタ

大工二百十円支拂フ 工場出来上ル

▲▼92ページ▲▼ 大正9(1920)年3月25日(木)

天気 雨

二サイクル機体組立

仕事師格納庫手入三三人本日ヨリ來ル

十一時晝食後佐野菅、村井、本郷、元志、藤位、洪ト海軍航空研究所見学ニ行ク

夕方帰ル

長谷氏ヨリ朝鮮へ着第一信來 返書出ス

▲▼93ページ▲▼ 大正9(1920)年3月26日(金)

天気 雪曇リ

雪ガチラ、シテ寒イ日デアッタガ後チ時々薄日ガサシタ 百廿五ト百五十二機帝都

訪問ヲヤッタ 百五十稲垣氏同乗 速力ハ余程違ウ様デアッタ

晝食後千葉ニ行キ川崎銀行ニテ野崎ノ金受取りニ三買物ヲナシ散髪シテ白戸ニ行キ

アンマヲ取り夕食後帰ル

久保田ヨリ金諸拂當着ス

▲▼94ページ▲▼ 大正9(1920)年3月27日(土)

天気 晴

久シ振リノ好天気ニナッタガ東北ノ風強カッタ

十時頃宮内、杉本、両君來 晝食後宮内帰郷ス 杉本百五十二同乗ス 写真ヲ取ル

海軍山本氏ノ照会ニテ一青年來ル

▲▼95ページ▲▼ 大正9(1920)年3月28日(日)

天気 晴

帳簿ノ整理ヲヤリダシタ處へ鳥飼、吉田、両氏來 夕方帰ル
百五十クランクケースハツシニカ、ル
杉本十一時ニテ帰ル

▲▼96ページ▲▼ 大正9(1920)年3月29日(月)

天気 雨

曇り少雨

仕事師四名來

夕方森田宿ノ主人來 二十円渡ス

▲▼97ページ▲▼ 大正9(1920)年3月30日(火)

天気 雨

八時半ニテ上京 佐藤ニ寄ル 妻君死去セリトノコトニ用ヲナシ得ズ鳥飼ニ行ク 太田ニ
佐藤へ香奠ト住友銀行へ五百円取りニヤル

宮本組ヨリ呼びビニ來ル 行ク 百五十賣ラナイカトノコト 一万五千円ニテ懸賞飛行後

ト云フロ約ヲナス 外ニマダ注文アル筈

鳥飼ニテ晝食後阿部ニ行キ三十円渡ス 岸本へノ手紙依頼ス

夕方帰ル

▲▼98ページ▲▼ 大正9(1920)年3月31日(水)

天気 雨

二月分ノ決算ヲ行ヒ

諸拂ヒヲナス

大辻來 四月一日ヨリ來ル

菅百五十用件ニテ上京セシム

岸本へノ手紙夜写サセル

▲▼99ページ▲▼ 補遺

百五十出來上ル

リバディー金策出來ズ

岸本未定

▲▼100ページ▲▼ 四月

リバディー金策

ジヤイロニサイクル完成ノコト

遠巨(ママ)離飛行成功セシムルコト

会社設立運動大ニヤルコト

▲▼101ページ▲▼ 大正9(1920)年4月1日(木)

天気 少晴レ

終日在宅 午後白戸來 明日上京ヲ約ス

写真 宮ノ流シヲ作ル

▲▼102ページ▲▼ 大正9(1920)年4月2日(金)

天気 雨

八時半白戸ト上京 佐藤、其他ニテ買物ヲナシ鳥飼ニヨリ今文ニテ晝食 宮本組(寄ル各方面ニ飛行機僕ニ交渉シテ呉レトノコトデアッタ 白戸ノヲ一万円 ルノー七十六千円ハ引受ケ明日小栗氏ノヲ聞クコトニシタ 帰途ツバメニテ夕食後帰ル

▲▼103ページ▲▼ 大正9(1920)年4月3日(土)

天気 雨

八時半ニテ上京 鳥飼ニヨリ小栗ニモヨル

新宿一時ニテ所沢ニ行ク 小栗君ニ會フ 夜食事ヲ共ニス 飛行機ハ賣ルガ値段ヲ五日

東京デ返事スルトノコトデアッタ

田村屋ニ泊ル 照井モ來タノデ同宿セシム

▲▼104ページ▲▼ 大正9(1920)年4月4日(日)

天気 雨

照井ハ朝食後隊へ行き二人ニ面會シテ相連レ小栗氏ノ飛行機ヲ見テ來ル 余ハソレ迄宿ニ居タ。川上中尉ガ尋ネテ來タ スグ帰ル 四人デ晝食後帰ル

鳥飼ニ立寄ル。両国ニテ稻垣氏ニ會フ
風強クナル

◆▼105ページ◆▼ 大正9(1920)年4月5日(月)

天気 雨

上京 小栗氏ニヨル 不在 マダ返ナシ 自分名儀ニテ聞合セニ來タラ返事ヲ知ラセテ
貰フ様依頼ス。浅野ニモ三百五枚注文 宮本組伊森氏ニ會ヒ小栗ノ返事ヲナシ鳥飼ニ
ヨリ堀留ニテプレレンノ布ヲ買ヒ帰ル
電車ガナイノト雨トデ大ニクタブレタ

◆▼106ページ◆▼ 大正9(1920)年4月6日(火)

天気 曇リ

終日在宅 ニサイクルプレレン張ル
阪東氏來場晝食 後藤山県飛ブ
謝文達金ヅカイ荒ク国元ニテ困難シツヽアリトノコトニ夜呼ビヨセテ意見ヲ與ヘル
阪東氏ト製作所設立ノ件大ニ共鳴ス 何ンダカチットモヂットシテ居ラレナイ様ナ氣ガ
シテ來タ

河辺ヨリ手紙來 在外内地人ノ不案(ママ)ヲ思ワセルニ充分ナ手紙デアッタ

◆▼107ページ◆▼ 大正9(1920)年4月7日(水)

天気 晴

漸ク晴レル 本日盛ンニ練習アリ
製作所予算書製作スベキ予定ノ處白戸氏來 ツヒニ出來ナカッタ
百五十所沢へ行ク 船橋ヨリ往復四十五分
練習生正岡峯雄來場ス

◆▼108ページ◆▼ 大正9(1920)年4月8日(木)

天気 晴

宮本組ヨリ電報アリ九時四十分ニテ上京 スグ行ク 昨夕刊ニテ陸軍ヨリ本所ニ注文
アリ 十万円ノ会社ニナルナドト出テ居タニツイテ商業的見地ヨリ代理納入ノ委任状
ヲ呉レト云フノガ主要ノ目的デアッタラシイ 承知ノ旨ヲ答ヘ共ニ陸軍省へ行キ航空課
ニテ児玉大尉ト約一時間話ス 課長ニ會ヒ工場來觀明後日正午ト決定シテ帰ル 鳥飼

宅ニテ白戸ニ會ヒツバメニテ夕食後帰ル
森田ニ五十円ト書留安福ニ事傳テル

▲▼1109ページ▲▼ 大正9(1920)年4月9日(金)

天気晴

百五十式時間連續飛行ス 成績ヨシ
百五十二マークヲ書ク 其他明日ノ準備ナス

▲▼1110ページ▲▼ 大正9(1920)年4月10日(土)

天気晴

十二時頃自動車來 一整(ママ)ニ飛行機ヲ引出ス
工場ヲ見テ稲毛へ晝食ニ行ク 一行伊森氏ニ味氏宮本氏松井課長児玉大尉デアッタ
海気館ニテ晝食中百廿五、ホールスカット雁行シテ飛來 後チ百五十一台ニテ飛來ス
陸軍モ式ヲ廢シモーランノ滑走機ヲ使用ストノコト ソレ位ノ注文ナラナドトノ児玉大
尉ノ言 食後帰場 記念写真ヲ取り帰ラル

▲▼1111ページ▲▼ 大正9(1920)年4月11日(日)

天気晴

日曜ト好天氣デ東京ハ非常ナ賑ヒデアッタトノコト
ニサイクルヲ手傳ヒ、昨日ノ写真ヲ現象(ママ)焼付ヲナス
二三日前研究所ガ百万円ノ会社ニナリ陸軍カラ注文ガアッタトノコトデ各方面カラ
色々ノ見ヤ祝ガ來ル様ニナッタ
四時廿五分ニテ上京ス 稲垣氏自宅ニ歸ル 山県ト自分玉置君ノ開店祝宴池洲ニ行ク
大坂ノ政夫氏ト會ス

▲▼1112ページ▲▼ 大正9(1920)年4月12日(月)

天気晴

ニサイク大ニツトメル
練習アリ
郵貯ノ通キタラズ大キニ困ル ガソリン材木屋未拂ヒ氣ニナル

▲▼1113ページ▲▼ 大正9(1920)年4月13日(火)

天気 晴

高山氏同辨ゴ氏來ル 岡本トカ云フシヤクニサワル奴デアッタ ツヒニ堪エ兼ネタノデモ
ノフ云ツテ呉レルナト云ツテヤッタラスグ帰ッタ

▲▼114ページ▲▼ 大正9(1920)年4月14日(水)

天気 雨

鳥飼氏來 大正日日ヨリ往復飛行ニ東京大坂デ何ニカ投下シテホシイトノコトヲ申込
ンデ來タ 晝食後大降りニナツタ中ヲ帰ツテ行ツタ
佐野青島後藤山県百五十二カ、ル

▲▼115ページ▲▼ 大正9(1920)年4月15日(木)

天気 晴

本日臨時休業セズ
村井昨日上京 夜帰ル
照井鳥飼へ使ヒニヤル 渡辺百五十円鳥飼ニテ借り三百五十円支拂ヒヲナス
地ヲ掘ル 藤位、信チヤン二人ニテ
日本ベニア会社田岡肆三男氏來ル

▲▼116ページ▲▼ 大正9(1920)年4月16日(金)

天気 晴

鳥飼へ百円持参セシム
会社ノ原稿ヲ作ル 終日カ、ル

▲▼117ページ▲▼ 大正9(1920)年4月17日(土)

天気 晴

タンク試験ノ結果大タンクモリ出シ修理ニカ、ル 夜十二時頃迄カ、ル

▲▼118ページ▲▼ 大正9(1920)年4月18日(日)

天気 曇後晴

朝降りソウデアッタガ後チ晴レル タンク丈夫ニナル 夜カバーヲカケル三二時過ぎ迄
カ、リ三時頃床ニツイタ

今日ハ來客デートデモ云フカ、日本セルロイドノ藤本氏ヲ最初ニ高本氏、井上氏、村田、高橋、一郎一行五名其他計廿五六名デアッタ
照井ジャンプ大ニヨシ
材木屋へ百円白戸ニ事傳ケル

▲▼119ページ▲▼ 大正9(1920)年4月19日(月)

天気 曇後晴

▲▼120ページ▲▼ 大正9(1920)年4月20日(火)

天気 曇後快晴

朝一葉写真ヲ取り現象(ママ)シテ八時三十分ニテ上京 車中徳永氏藤本氏ニ會フ 宮本組滑走機注文取ルコトニ内定シタカラ至急委任状ヲ書イテ與レトノコトデアッタ
鳥飼ニテ佐野ノ來ルヲ待ツ 晝食後買物ヲナス 三時佐野、濱外ニ名來 共ニ東京駅ニ行ク 大坂ニ於ケル運動ノ打合セヲナシ帰宅ス
百五十滑走巨(ママ)離ミジカク成績ヨシ
此記事ハ十九日ノ分
廿日ノ分ハ十九日ニアリ

▲▼121ページ▲▼ 大正9(1920)年4月21日(水)

天気 晴

五時起床 食後場ニ行ク 各地ヲ雲低ク不可能ト思ヒシニ各地皆快晴ヲ報ジ東京モ次第二晴レ決行ノコトニナル 南風ヲ待ツテ十時八分出發。飯沼君ノ機スタート悪シクツヒニ中止ト迫ナリ大ニゴタツイタガ決(ママ)局〇時四十分出發セリ
山県ノ機西空ニ見エシ時飯沼氏相州大山ニ墜落セリトノ報アリ 悲嬉(ママ)場ニ滿ツ市民ノ觀呼ノ内ヲ宮本氏ノ招キニテ新橋ホー樂ニ行ク 九時帰ル 飯沼氏重傷トノ報アリ 後藤君ト九時四十分發ニテ出發 平塚下車 自動車ヲヤトヒ秦野迄行ク 徳永佐藤氏ト同宿 二時床ニ入ル
飯沼君ニ同情スルト同時ニ自分ノ好運ヲ何者ニカ感謝セズニハ居ラレナイ氣ガシタ

▲▼122ページ▲▼ 大正9(1920)年4月22日(木)

天気 晴

四時起床 仕度シテ六時頃出発 山ニノボル 今少シト云フ處ニテ飯沼君ノ下山ニ會フ
植林事ム所ニツク頃ヨリ雨降り其中ヲ現場ニ行ク 実ニヒドイ處デアッタ 晝食後下山
伊藤病院ニ見舞ヲナシ四時ノ自動車ニテ平塚ニ出テ八時頃鳥飼ニツク 食後スグ床ニツ
ク

▲▼123ページ▲▼ 大正9(1920)年4月23日(金)

天気晴

四時頃ヨリ目醒メ六時頃起床 宮本組へ後藤君ヲ照会シ後チ瀬尾君トモ照会 シベリ
ヤ行キノ協儀(ママ)ヲナサシム
二三回中沢カラ電話ガアツタノデツヒニ蓬萊屋へ行ク 居ラナイノデ大ニシヤクニサワリ
帰リカケタ處呼ビニ來タノデ行ク 又馳走ガ出タガ余リ喰ヘナカッタ 帳場ヲヤリツ、
アルトノコト 女中外一同へ十円ト本人へ廿円ヤッタ 帰途ツバメニ寄り五時余ノ汽車ニ
テ帰ル フト目ガサメルト幕張ヲ通過シツ、アツタノデ千葉ニ行キ吾妻俱樂部ニ行キ白
戸氏ヲ呼ビ時間追遊ンデ白戸氏宅ニ泊ル 妻君モ今先キ帰ツタ處ダトノコト

▲▼124ページ▲▼ 大正9(1920)年4月24日(土)

天気晴

八時起床 食後ローンヲ見後チオートバイニテ稲毛ニ立寄り晝頃帰宅ス
大口來 河村母、ハル両君トモ晝食ヲ共ニス 所員コトゞク成田ニ參詣シ一人モ居ラズ
山県稲垣ハ上京ス
夜早ク帰ル

昨日高山代辨護士ニ宮某ト云ノカラ書留内容証明デ式週間以内ニ地所明渡シノコト
ヲ云ツテ來タ 今日元志ニ鳥飼へ持タセテヤル

▲▼125ページ▲▼ 大正9(1920)年4月25日(日)

天気曇リ

午前三月ノ簿記ヲナス 晝食後長谷、戸川勝田ニ氏來 食事後写真ヲ取り同乗飛行
ヲナシ夕方帰ル 長谷氏泊ル

▲▼126ページ▲▼ 大正9(1920)年4月26日(月)

天気雨

終日三分ノ簿記

午後二時頃宮本組主人ト海軍ヨリ大崎大尉有元大尉ト大佐一名來場 飛行機工場
ヲ見テ帰ツタ

▲▼127ページ▲▼ 大正9(1920)年4月27日(火)

天気 雨

終日在宅ス

▲▼128ページ▲▼ 大正9(1920)年4月28日(水)

天気 晴

八時ニテ上京 鳥飼へ行く迄佐藤斎藤ニヨル 日比谷迄ツヒニ徒歩シタ 電車ノ数ハ割
合ニ動イテ居タ

鳥飼ヨリ丁度荒川ニ行クカラ一所ニ行フトノコトニ行クコトニシタ 宮本組へ一寸立寄ル
不在 伊森氏ニ會フ

荒川ハ舟デ行ツタガスデニ葉バカリデアッタガ八重ガ少シ少(ママ)ツテ居タ 掛茶屋ハ七
分以上仕舞ツ、アツタ 夕方帰ル 阿部へガスデンノ百馬力調査ヲ依頼ス

長谷氏ヨリ山県ノ希望ナリトテ女ノ身受ノ件話シガアツタ。自分ノ意見モ少シノベテ
居ク

▲▼129ページ▲▼ 大正9(1920)年4月29日(木)

天気 晴

後藤百五十二テ練習ス 一回

外練習生練習ス

山県朝帰ル

佐野夕方帰ル 大阪ノ話聞ク

▲▼130ページ▲▼ 大正9(1920)年4月30日(金)

天気 晴

午前練習アリ。ニサイク組立

山県、後藤、稲垣午後上京

夕方鳥飼氏來 佐野ト夕食ヲ共ニス 鳥飼ト祝賀案内ノ打合せ外山県対鳥飼関係ヲ
鳥飼ガ明ラカニ自分ノ後繼者デアルコトヲコトワツテ帰ツタ

▲▼131ページ▲▼ 補遺

リバティー金策出來ズ
ジヤイロ 出來ズ
ニサイクルホトンド完成
遠巨(ママ)離飛行大成功
会社運動佐野大坂ニテ岸傳氏ニ會ヒヤ、歩ヲ進メタラシ

▲▼132ページ▲▼ 五月

リバティー金策ノコト
会社運動ノコト
ジヤイロ完成ノコト
ニサイクル試飛行ノコト

▲▼133ページ▲▼ 大正9(1920)年5月1日(土)

天気 雨
終日帳簿整理ヲナス
雨ノ爲メ練習出來ズ 助手連非(ママ)カンス

▲▼134ページ▲▼ 大正9(1920)年5月2日(日)

天気 晴
時事 遠巨(ママ)離飛行賞品授與式
晝前鳥飼ニツク 食後九段階(ママ)行社ニ行ク 受賞者一人デ淋シカッタ 宮殿下ハ陸
下ノ御帰リデ令旨ダケガアッタ 大隈侯モ足痛デ見エナカッタ 坂谷男ガ万事ヲ行ワ
レタ 松井大佐井上課長島村軍令部長等モ見エタ 式後記念写真ヲ取り引ツ、キ深川
蝶々ニ行ク 例ノ林家藝者デ大ニ賑ツタ 一番御先ニ失敬スル 鳥飼ニ泊ル 山県長谷
氏ノ處ヘ行ク 一時頃帰ツテ來タ 其少シ前カラ目ガ醒メテ三時過ギル迄眠レナカッタ
ニハ困ツタ

▲▼135ページ▲▼ 大正9(1920)年5月3日(月)

天気 雨

此前モ札廻リハ雨デアッタ 奇ト云フベシ

陸相不在 海相、大隈侯面會ス 外数軒廻ル

晝食後阿部來 共ニ清新軒ニ入り又ノム ガス電交渉進歩ヲハカラシムルコト 宮本喜與藏ニ対スル悪感ヲ去ラシムルコト 山県鳥飼ニ対スル余ノ意見ナド話シテ分レル ツバメニテ夕食 九時十分ニノル 稲毛迄乗越シ今日バカリハドコハ泊ロカ大ニ迷ツタ 千葉ニ下車 車ハナシ 徒歩ニテ遊廓ニ入ル バタ、ソウゴ、シク眠レズ大ニ困ル

▲▼136ページ▲▼ 大正9(1920)年5月4日(火)

天気 雨

七時二十分ニテ帰津 帰宅朝食後山県ト金ノ配當ヲ議シ十時ニテ上京 鳥飼ニテ晝食後協会ニ行キ一万円小切手ニテ受取リスグ三菱銀行ニテ引換ヘ鳥飼ニテ三千元山県分 五百円鳥飼分 外三二月以後ノ勘定ヲスマセテ帰津ス

▲▼137ページ▲▼ 大正9(1920)年5月5日(水)

天気 雨

今モ雨 晝前山県、青島、稲垣、後藤、上京 佐野自分ハ一時五十分ニテ上京 鳥飼ヨリ自動車ニテ精養軒ニ行ク 案内七十余人ノ内六十余人來會者ガアツテ非常ナ盛會デアッタ 六時十分過ギヨリ初メ七時過ギ終ル 本日ノ違彩ハ高東氏ノ作振會ヲ代表セル演說振リノ頗ル要領ヲ得テ居タコトデアッタ 九時十分ニテ白戸高橋君ト帰ル 途中腹ガ痛ンデ大ニ困ツタ

▲▼138ページ▲▼ 大正9(1920)年5月6日(木)

天気 雨

今日モ練習出來ズ

近來工場員ダキ滿々 仕事ハカドラズ 思ニ大飛行ニテ上京数日ニ渡リ其氣分取レザル爲メナルベシ

スベテノ配當ヲ終リ大坂ヘモ送金ス 余ス處僅ニ五百余円。一万円ノ金庇ノ如ク消ユ木津仁三郎ナル人來 松村行途不明ノ爲メ九日検査ノ由 過日預リタル金ノ受取ヲ渡ス

衆議員候補者石川安次郎氏ノビラ撒キ申込ミアリ 明日返事アル筈

▲▼139ページ▲▼ 大正9(1920)年5月7日(金)

天気 雨

午前中仕事ハカドラスベク段取りヲナシ買物ハ照井ヲ上京セシム
午後信太郎ヲ連レ成田山ハ御礼参リニ行ク 帰途千葉ニ下車 材木屋ニ弍百五円ヲ支拂ヒ主人不在ニツキ受取ヲ取ラズ白戸ニ行キ夕食後帰ル 吉心配シテ途中追迎ヘニ出テ居タ 入浴後床ニツク

▲▼140ページ▲▼ 大正9(1920)年5月8日(土)

天気 雨

雨午後少シ晴レ裏ノ崖クヅレル 菊畑ヲ作ル
長谷氏ヨリ山県ノ件聞ク 千五百円入ルトノコト 金六余鳥飼氏ニ話スルコトヲ引受ケ其他ヲ長谷氏ニ一任ス
石川安次郎代議來 八百円受取ル
夜十時過ぎ再ビ來 撰擧違返(ママ)ニナルカモシレヌカラ中止シタイトノコト 五十円置クト云ツタガ皆返シテヤツタ

▲▼141ページ▲▼ 大正9(1920)年5月9日(日)

天気 曇雨

百五十飛行ス 降タリ進ンダリ大ニヤム 夕方ヤヽヨクナル 少シオソケレ共出發セシム
帳簿整理ヲナシ後チ長谷、山県ト山県ノ女ノコト相談アリ 結局金自分引受ケルコトニシテ長谷氏出發スルコトニナル

▲▼142ページ▲▼ 大正9(1920)年5月10日(月)

天気 晴雨

九時ニテ上京鳥飼ニ行ク 皆不在 長谷氏ヨリ稲垣君來 共ニランチニテ晝食 太田來水ジケット切レ修理中トノコト 食後川崎ニ行ク 午前一回飛行機ノ出來事ニテ幸ヒナリキ 後チツヒニ直ラズ原因不明ノ中ニ帰ル
長谷氏今夜出發 金弍百円貸ス

▲▼143ページ▲▼ 大正9(1920)年5月11日(火)

天気 晴

久シ振リノ好天気 下リ一番ニテ千葉ニ行キ白戸ノ機体鳥飼ニ買ワセバク同行上京

洲崎ニ行ク 發動機一番前ノシリンダー取付ボルト四本折レ居タル爲メ分解中ナリ
キ 山県ニ飛行機ノ件話シ鳥飼ニ行ク 大坂ノノーム買フトノコトニスグ辭シテ帰途ツバ
メニテ晝食夕食ヲ共ニ夜帰ル
大坂兄ヨリ千円スグ送レ帰レ外ニ小林立ツタ鳥飼ニテ會ヘトノ電アリタリ

▲▼144ページ▲▼ 大正9(1920)年5月12日(水)

天気晴

昨日ノ電報ニヨリ午前ノ練習ヲ見最後ノ照井破損後八時四十分ニテ上京 鳥飼宅ニ
テ待ツ間宮本組ヘ行キ万一ノ場合ニ所スベキ方法ヲ相談ス 半分ダケデモ先キニ入レテ
呉レバアトハ少シ待ツトノコトデアッタ

午後二時頃小林君來 佐渡島三分ノ一ダケ負擔スルトノ話シアリタリト
夕方帰宅 山県佐野ニ不在中ノコトヲ話シテ明早朝出發ノ準備ヲナス

▲▼145ページ▲▼ 大正9(1920)年5月13日(木)

天気 雨後晴

四時半起床上京 鳥飼ニ立寄り八時半ニテ出發 途中成功ヲ念ジツ、夜八時半大坂
着 九時帰宅

延次郎、來テ居タ 財界不況困難ノ話シアリ 十一時床ニツク
父本日伊セヘ出發セシトノコト

▲▼146ページ▲▼ 大正9(1920)年5月14日(金)

天気晴

午後竹島へ挨拶ニ行ク 不在
井上長君へ金支拂フ

本日佐渡島ヘ行ク予定ナリシモ會ツタ上万一例ノ考ヘルヤラシテハ困ルノデ兄ト同道
スルベク今日ハ見合セタ

夜鳥飼ヨリ二千円送金ノ電報アリ
白戸乗池ノ所ヘ行クベク明朝九時大坂通過ノ電報アリタリ

▲▼147ページ▲▼ 大正9(1920)年5月15日(土)

天気晴

八時宅ヲ出梅田ニ行ク 八時五十五分ニ姿見エズ 聞ケバ京都ヨリノ列車ナリト ツヒ

ニ會ワズ スグ天下茶屋一森氏ヲ訪フ 交渉ノ結果千八百円ヨリマケズ 其旨鳥飼へ打電ス

竹島主人ノ恵美須駅ニテ姿ヲ見ル 今日モダメ

鳥飼ヨリ二千円到着 兄当坐へ入金直後山県政夫氏來 洋行ノ件鳥飼へ事傳フ聞ク 豊ノ女ノコトニツキ話シアリ 大ニ辨ジタガ少々極リ悪ルカッタ

▲▼148ページ▲▼ 大正9(1920)年5月16日(日)

天気晴

正午鳥分鳥ヲ求メ皆ト共ニ食ス

丁度白戸來 食後夕方ヨリ三步ニ出デ落語ヲ聞キ十二時頃帰宅

▲▼149ページ▲▼ 大正9(1920)年5月17日(月)

天気晴

竹島主人ニ會フ 三分一持ツカラ西店デ三分ノ二持ツテ貰ヘトノコト スグ西店へ行ク コノデモ同ジ答ニテ、コノ大ニ考ヘル 結果三分ノ一八百五十二テ広告ヲ取り何ントカコギ付ケイヨ、不足ノ場合ハソレダケヲ補助シテ貰フコトニ決心シタ

正午晝食後白戸ト工場ニ行キ小切手ヲ取り住友ニテ現金ニカエニ森ニ行ク 丁度野島氏モ居タル 京都ノ稲垣へ二千円ニテ話シ中ナリシトノコト 鬼三角ユヅリ受ケル

予備シリンダー間ニ合ワズ機分解シテ二本取りアト又組立ツ 夜ニ入り一森氏ニテ夕食ヲ馳走ニナリ帰ル 白戸十一時ニテ立ツ 梅田辻見送ル

▲▼150ページ▲▼ 大正9(1920)年5月18日(火)

天気晴

竹島主人ニ會ヒ昨日ノ予定ニ随ヒ取アエズ今月分五千円ノ半分ヅ、出資ノコトノ承認ヲ得後チ西店主人ニ會ヒ昨日ノ決心ヲ作ル以上ノ件ノ承認ヲ得ヤ、心付ク 後坂本民一氏ヲ訪フ 不在 一森ニ行キ荷造ヲ見テ帰ル

▲▼151ページ▲▼ 大正9(1920)年5月19日(水)

天気曇少晴

竹島主人ニ會ヒ尚依頼シテ工場ニ行キ金百円借り時間ヲ消ス爲メ活動ヲ見テ帰ル 井上君來 夕食ヲ共ニシ七時五十分ニテ出發 ヤハリ込ミ合ッテ眠レナカッタ

▲▼152ページ▲▼ 大正9(1920)年5月20日(木)

天気晴

八時半東京駅着 其前自分等ノ列車ノ火夫ガ駅ニ入ル少シノ處ヲセンターポールニ頭ヲ打付ケ墜落シタ 氣ノ毒デアッタ 同情金ヲアツメテヤローカト氣ツイタ頃ニハモ駅へ這入ツテ居タ

鳥飼津田沼へ行ツタトノコト 宮本組主人ニ會ヒ五千円今月入レ、残金六品引取ル時約束手形ニテヨシト云コトニ決シテ帰宅ス

一時帰宅 晝食ス 手紙ヲ見テホールスカットノカバーヲ一寸ヤッタ ニーサイクル昨日兵頭ガコワシタトノコトデアッタ

▲▼153ページ▲▼ 大正9(1920)年5月21日(金)

天気晴

今日ハホールスカットヲヤッタ

朝大坂竹島佐渡島へ手紙ヲ出シ同時ニ兄へ借用証ニ通発送ス

稲垣、後藤上京 夜山県ト夕食ヲ共ニシ將來ノコトヲ議ス。佐野國ヨリ上京セシ人ノ見物案内トシテ上京ス

▲▼154ページ▲▼ 大正9(1920)年5月22日(土)

天気晴

ホールスカット組立

夕方鳥飼氏來 政夫氏ノ事傳ヲ傳ヘル

森田藤森下宿費ノ件ニ付荒井源次郎氏へ手紙出ス

▲▼155ページ▲▼ 大正9(1920)年5月23日(日)

天気晴

午前中四月分勘定ヲナス 午後大坂島津氏來 海氣館ニ行ク 一方山県飛行機ニテ白戸ニ來ル様傳ヘル 後白戸ニ行キローンヲ見注意事項ヲ聞キ再ビ帰所 山県、後藤等ト茶話 四時過ぎ帰ヘラル 其他数名見学者アリ

佐野晝前帰所ス

▲▼156ページ▲▼ 大正9(1920)年5月24日(月)

天気 雨

終日記帳ヲナス 四月分ホトンド終ル

▲▼157ページ▲▼ 大正9(1920)年5月25日(火)

天気 晴

風強シ 十時頃ヨリ千葉ニ行キ九十八銀行ニテ金受取り根本ニ机注文シ外買物ヲナシ
白戸ニ行キアンマヲ取り夕食後駅迄送ラレテ帰ル 百円貸ス

▲▼158ページ▲▼ 大正9(1920)年5月26日(水)

天気 晴

早朝ヨリ練習アリ

八時九分ヨリ上京 鳥飼ニ行キ瀧津社ニテ阿部ニ會ヒ中君ト飯沼君ヲ見ヒ後阿部、中
ト夕食後空中ノ脅威即チロクリヤヤノ曲藝ヲ見ル 十時十分終ル 幸ヒ日日新聞ノ
写真班居リオートバイヲ頼ンデ両国迄送ラレ終列車ニテ帰ル
大坂ノ兄へ手紙 金ノ請求ヲヤル 太田、菅四時五十分ニテ出發ス

▲▼159ページ▲▼ 大正9(1920)年5月27日(木)

天気 晴

朝練習ヲ見ル

晝食ヲ山県外四名ト共ニス 山県照井出發 後藤、稲垣上京
夜十時半頃一寢入後目醒メタルトキ大雨ト雷ノ音ヲ聞ク
ヤマト新聞主催シベリヤ出征兵慰問相僕(ママ)ノピラマキ飛行後藤君八時半頃行フ
謝君同乗 帰途謝君飛行機ニヨウ 初メテノ出來コトナリキ

▲▼160ページ▲▼ 大正9(1920)年5月28日(金)

天気 晴曇

午前後藤君練習教授 自分モ見ル
百五十分解ニカゝル

川崎造船佐藤登氏來場 七月ヨリ見学ニ來ル由

▲▼161ページ▲▼ 大正9(1920)年5月29日(土)

天気晴

東風強ク練習休

後藤君上京

鳥飼ヨリペンノ布持参ス シリンダー百五十分持タセヤル

自分ジヤイロプロペラ二本塗ル

兄ヨリ五千円送ツタト電來ル 安心ス

▲▼162ページ▲▼ 大正9(1920)年5月30日(日)

天気晴

上京 百五十シリンダーヲ鳥飼ニ持チ行ク 原、中七ニ支拂ニ行ク 鳥飼同道 百五十

附属品受取りニ行ク 倉庫ノ下積ニナツテ出スノニタ方迄カ、ル 大イソギニ帰場 十時

ニナツタ スグ明日伊機カンゲイノ上京打合せヲナス

本日安岡高知ニテ飛行セシ由入電アリ

▲▼163ページ▲▼ 大正9(1920)年5月31日(月)

天気 晴後雨

五時五分前目ヲ醒シ驚イテ出發 ガマロヲ忘レル アトヨリ持ツテ來テ呉レタ

降ツタリ晴レタリ氣ツカワレタガ代々木ニ行ク スバヲ見タ 大ニ参考ニナル。三機ノ歡

迎飛行ハ大ニヨカッタ 一時十分マシエル中尉ノ機影見エ着陸後何ンダカ涙グマレタ 皆

ソウラシカッタ

フラリン君一時間遅レテ一時間遅レテ着ク 途中各務ヶ原ニ着陸シタトノコト 着陸モ

皆ウマカッタ。エライモノダ 中渋谷駅裏ニテ後藤稲垣、佐野ト晝食ス 大雷雨トナル

両氏ノ幸運ヲ祝ス

夜又雷雨アリ

十一時頃後藤氏ノローン着ス

▲▼164ページ▲▼ 補遺

リバーティノ金策半バナル

ジヤイロ完成セズ

会社運動振ワズ

ニサイクル出來上ル

▲▼165ページ▲▼ 六月

ジヤイロ機体仕上

百五十完成セシメ広告飛行スルコト

会社運動ノコト

後藤ローン仕事ニカゝルコト

金引締メルコト

▲▼166ページ▲▼ 大正9(1920)年6月1日(火)

天気 晴

宮本組へ行ク予定ナリシモ白戸ヨリ昨日使アリ協会ノ人來ルトノコト二千葉へ先ヅク
三時頃漸ク來ル 徳永戸田両氏 四百引取困難ヲウツタエル。後チ梅松別荘ニ行ク
丁度小栗氏モ來テ合セ一行五名 夜八時頃迄大ニノム 作振会ニ対スル戸田氏ノ奇(マ
マ)炎ガアツタ 同氏ノオドリナルモノ 又又ヲ見タガ実ニウマカツタ
兄ヨリ五千円着ス 手紙ハ大分悲ソ一ナモノデアツタ

▲▼167ページ▲▼ 大正9(1920)年6月2日(水)

天気 晴

小栗氏トローンニジヤイロノ機体賣ルコトカーチスト交換問題ヲ持出スベク考ヘタ 宮本
組へ五千円支拂ヒヲナス
正午迄鳥飼ニ居ル 同氏午後五時廿分ニテ出発 百円同氏ニ借リル
正午過ぎ白戸氏鳥飼へ來ル 共ニ友野へ行ク。ツバメニ立寄り支拂ヒヲナス
百五十シリンダウエルト出來玉置仕事ニカゝル
山県ヨリ安岡無事終リタル旨電報アリタリ

▲▼168ページ▲▼ 大正9(1920)年6月3日(木)

天気 晴

青島解雇ス 最初ノ目的ヲ捨テ生活ノ安定ヲ得ンコトヲ望ミ居ルナルベシ。但シ口上ハ
練習ヤル希望ヲ有セル爲メ解雇外ナク昨日云ヒ渡ス

大工休ミ

加藤見学生來 宿ヲ極メル 張練習希望生來 十日以後來場ノコト

夜佐野、稲垣後藤氏等トノム 第三十回誕生日ニツキ

▲▼169ページ▲▼ 大正9(1920)年6月4日(金)

天気 雨

五月中ノ諸勘定ヲナス 終リテプロペラニ磨キヲカケテ一日ヲ終ル
夕方花壇ノ草ムシリヲス
夜青島來 今一度使ツテ呉レトノコト 発表後ダカラソシナ訳ニ行カナイ 何處カへ行ッ
テ相談シテ來イト云ツテヤツタ

▲▼170ページ▲▼ 大正9(1920)年6月5日(土)

天気 雨

五月分帳簿整理手紙方附ケ
青島入所ノコト 今少シ困ラセル

▲▼171ページ▲▼ 大正9(1920)年6月6日(日)

天気 晴

八時ニテ上京 ローン用木材ヲ買ヒ齋藤へ。ヘラ材注文 鳥飼ニ行ク 丁度照井ガ帰ツテ
居タノデ森田ヲ見ニヤル 自分ハ日比谷ノ伊国飛行將校ヲ學生團ノ歡迎振りヲ見ニ行
ク 時間ガ早カッタノデ、百五十シリンダーヲ友野へ持ッテ行ツタ 主人不在 預ケテ
帰ル

▲▼172ページ▲▼ 大正9(1920)年6月7日(月)

天気 晴

午後小栗白戸來 小栗オートバイニテ帰京 白戸夕食後帰ル
山県無事飛行終ル 電報來ル

▲▼173ページ▲▼ 大正9(1920)年6月8日(火)

天気 晴

佐野同伴上京 後藤氏モ共ニ行キ金五百円受取ル
協会ノルノー入札 小川三郎四百六十五円ニテ買フ
太郎左衛門來 午後ガソリン十函木材ヲ積ンデ帰ル 佐野後藤晝食後帰ル
友野へ百五十シリンダート予備水圧試験ヲ頼ム

五時半紅葉館ニ行ク 丁度余興丸一ガ初マル處デアッタ 水田佐藤二氏中島氏モ見エタ 坂谷、長岡、田中館、井上少将松井大佐等モ居ラレタ 七時頃ヨリ宴ニ入り九時頃帰ル 終列車ニ乗ル

フエラリンオトナシクマシエロ、佐藤君ニ似タル處アリ マレット茶目ニテカッパニ小ガラノフエラリントモ思エル 彼等モヤハリ平凡ナ人間ナリ

岸本傳太郎氏へ佐野ニ手紙出サセル

▲▼174ページ▲▼ 大正9(1920)年6月9日(水)

天気 晴

ホ式昨日帰ル 早朝練習アリ

晝前大口來 例年ノ御代ヲ書カセラル 晝食後帰ル

東京朝日ヨリ山県へ過日運動会飛行ニ対シ銀盃ヲ持ッテ來ラレタ 午後事ム所ノドアーヲ塗ル

▲▼175ページ▲▼ 大正9(1920)年6月10日(木)

天気 晴

千葉区裁判所ヨリ家屋明渡シノ件ニ関シ十八日口頭辨論ナル通知アリ スグ上京 森原氏ニ會ヒ一件書類ト委任状ヲ渡ス 友野へ行キタンバクヲ求メ百五十ノ水圧ヲ依頼シ佐藤へ支拂ニ行ク 夕方帰宅

山県壬生川無事終ル

野崎宮崎直線飛行

▲▼176ページ▲▼ 大正9(1920)年6月11日(金)

天気 曇リ

七時九分ニテ上京 鳥飼ニ立寄り洋服ノ假縫ヒヲナシ、友野ニ行ク マダヤッテナカッタ ノデツイテ仕事ヲシテ貰フ 晝食後帰途大川塗料社ニ立寄り三時頃帰宅ス

▲▼177ページ▲▼ 大正9(1920)年6月12日(土)

天気 曇リ

午前中ジャイロカーバー下地 午後上京 佐藤ニテ買物ト注文 友野ニテ水圧試験準備 五時迄ソレヨリ阿部ト共ニ鉄道協会ニ行ク 島村軍令部長、井上少将、坂谷男久能中将外三十余名 食後視察談ニ入り十時半終ル 白戸十時十分ニ帰ル コレヨリ先

キ照井來 百五十シリンダーウエルトスル處アリ鳥飼へ持タセアリシニヨリ今夜ハ鳥飼ニ泊ル

▲▼178ページ▲▼ 大正9(1920)年6月13日(日)

天気 曇リ

早朝鳥飼宛地所ノコト引証通知アリ
照井帰シ自分阿部へ行キウエルトヲ頼ム 森原氏ニ會ヒ書類ヲ渡シ鳥飼へ委任状用紙ヲ送ル

ヤツト今日水圧試験出來タガ三百瓦(ママ)ニテサクシヨシノ附根カラ汗ヲカキ初メツヒニ玉トナツテ落ちタ
夕方帰所ス

▲▼179ページ▲▼ 大正9(1920)年6月14日(月)

天気 曇リ

ジヤイロカバーノ骨組ヲヤル 佐藤君晝前來 福永根岸モ來 東京砂糖商組合ノビラ撒キ申込ミニアリ 引受ケル 決定ト同時ニ半金送ル様依頼ス

夕方仕事終ツテ入浴後ローンノ附属島津ヨリ來ル 持参ス 食事ヲ馳走ニナリテ帰ル

▲▼180ページ▲▼ 大正9(1920)年6月15日(火)

天気 晴曇リ

十時二十二分白戸氏ト上京 晝食後宮本組ニ行ク 所員スデニ箱ヨリ出シテアツタ窓ニ陳列シサビヲ取ル ラジエターモ何ニモ付イテ居ナカツタ。阿部來 廿円貸ス 中氏リバーテート自分阿部ノ写真ヲ取ル

スグ帝劇ニ行ク スデニ四時半 十時少シ見殘シテ帰ル 所員ト一所ニナツタ

▲▼181ページ▲▼ 大正9(1920)年6月16日(水)

天気 雨

終日大雨

森辨護士へ自分ノ意見ヲ手紙ニテ照井ニ持タセテヤル 外二三買物 百五十シリンダーウマク取付カズ一本持タセヤル 鳥飼迄
終日ジヤイロサイドカバーヲヤル

▲▼182ページ▲▼ 大正9(1920)年6月17日(木)

天気 晴

曇り後晴

練習アリ 後藤、兵頭同乗 百五米突位迫昇シ時エンジンストップ 四尺位ノ海中ニ着陸テンプク スグ分解 プレイン壊レザレ共翼布ダメ 夜佐野、後藤、明日ノ多摩川行ニ爲メ上京ス

東京砂糖商組合ノ広告飛行手金三百五十円受取ル

▲▼183ページ▲▼ 大正9(1920)年6月18日(金)

天気 晴

宮本組へ行ク スペヤーパートラジエター別ノモノトノコト 兎三角注文ス ラジエターハ先方負擔 ヤムヲ得ザル場合三分ノ一位出シテ呉レトノコトデアッタ
鳥飼ニテ晝食後翼布ヲ購入シテ帰ル 後手布ヲ断チ縫ヒニヤル
夜山県墜落 見舞ノ電報來ル 鳥飼ヨリ機破損人無事ノ電報アリ

▲▼184ページ▲▼ 大正9(1920)年6月19日(土)

天気 雨

ホールスカットプレシ修理 翼布張り

自分ジヤイロヤル

佐野、後藤午後四時頃帰ル

山県明朝出發ノ電報來ル

▲▼185ページ▲▼ 大正9(1920)年6月20日(日)

天気 晴

小石川自轉車組合日野氏照介ニテ來ル

阪東氏來 千円受取ル 夕食後帰ル

萬朝夕刊ニテ小栗氏墜落生死不明ノ報ヲ見ル スグ見舞ヲ發ス
ホールスカット下翼出來上ル

今日ヨリ五時夕食八時迄夜業ヲナス

▲▼186ページ▲▼ 大正9(1920)年6月21日(月)

天気 曇晴

上京買物

山県、鳥飼帰ル 話シ聞ク 小栗氏見舞 喜代市兄ニ會フ 夕食ヲ共ニ万安ニテナシ九時十分ニテ帰ル 入浴後十二時眠ル

▲▼187ページ▲▼ 大正9(1920)年6月22日(火)

天気 曇晴

ホールスカット塗料 自分ジヤイロ機体少シ

兄後藤稲垣佐野ト晝食後兄上京 廿四日夜帰ル筈

夜阪東來

山県夕方帰ル

▲▼188ページ▲▼ 大正9(1920)年6月23日(水)

天気 曇リ

山県午後上京

余ジヤイロー 仕事中不圖安井ヘリバーティー賣込ミデハト一寸思タ 兎ニ角手紙ヲ出シテ見様

川辺君カラ手紙來タ

▲▼189ページ▲▼ 大正9(1920)年6月24日(木)

天気 曇少晴

今日ハ沢山タマッタ手紙ノ返事ヤラ大坂ヘヤラ安井ヘ昨日考ヘタコトナド十三四枚手紙ヲ書イテ午後後迄カヽッタ

夕方練習アリ

洪、呉、長タト健(ママ)白書ヲヨコス。スベテカレ等ノヒガミニ過ギズ 兎ニ角一同ニ親切ヲツクスコトヲ申シ渡ス

▲▼190ページ▲▼ 大正9(1920)年6月25日(金)

天気 曇後晴

喜代市兄ト稲毛ニ行キ大口ト共ニ成田佐倉ニ参拜 千葉梅松ニテ夕食 白戸ヲ呼ブ

八時五十分ニテ帰ル 信太郎同伴 途中小便ヲサレテ大ニ困ル

玉置本日午後ヨリ來 仕事ニカヽル

▲▼191ページ▲▼ 大正9(1920)年6月26日(土)

天気 曇晴

練習アリ 照井百廿五同乗練習

自分ジヤイロ タ方ヨリ仕事ニ身入り八時近ク迄夜業ヲナス

山県、後藤午後上京

▲▼192ページ▲▼ 大正9(1920)年6月27日(日)

天気 雨

自分ジヤイロ

山県ホールスカット マグネトヲ取替タリシテ居タ

同人父ヨリ手紙來 静養ヲタシテ來タ 大ニ最モダト思ツタ。

一時イヤニナツタ役治ヲ先頃又讀ミタイ氣ガシテ又讀ミダシタ

▲▼193ページ▲▼ 大正9(1920)年6月28日(月)

天気 雨風

夜二時頃ヨリ吹キタ方ヤム

朝手紙四通 後ジヤイロ八時迄夜業

戸川氏午後來訪 今朝帰神ノ由

信太郎近來壯健且ツ物ガワカル様ニナツテ來タ 今日ハ終日飛行機ヲ風ニ吹カセテ一

人デ遊ンデ居タ

太田ニ宝田ノ金傳言ケ持タセテヤル

▲▼194ページ▲▼ 大正9(1920)年6月29日(火)

天気 曇雨

今日ハ東京へ送金數ヶ所

後藤君午後ホールスカット發動機試験 二本ダケ爆發不整 ツヒニ其マ、終ル

自分ジヤイロ

夜加藤君來 三十分バカリ話シシテ歸ル

久原商會社ヨリドイツタイムヲ百十馬力ヨリ二百六十馬力迄價三千円ヨリ四千余

円迄數百台ハユヅルノデ渡シ見込ミヲ聞キニ來タ

▲▼195ページ▲▼ 大正9(1920)年6月30日(水)

天気 曇晴

自分ジヤイロ

今日支拂ヲナス スツカリ出シ切ッタアトカラ思ヒガケナイ運送店カラ取りニ來テ大ニ面喰ツタ

夜八時前夜業中白戸氏來 夕食後帰ル

▲▼196ページ▲▼ 補遺

ジヤイロ機体成ラズ

百五十馬力モダメ

会社運動手ニツカズ

佐藤ノローンニカゝル

金引締メテモ足ラズ

以上唯一ツノミ今月ハ工所家屋ノ件ニテ訴ヘラレ山県初メテ墜落 後藤同様
今月ハ大ニ悪ロシ 來月大フントウヲ要ス

▲▼197ページ▲▼ 七月

ジヤイロ、ローン引渡スコト

百五十完成セシムルコト

金引締メルコト

会社運動ノコト

金モウケヲ考ヘルコト

▲▼198ページ▲▼ 大正9(1920)年7月1日(木)

天気 晴

好晴 仕事師來ル 一人半製圖室ノ日除ケヲ作ル

青島半日 大工一人半

午前中助手ノ練習盛シ 午後上京スルモノ千葉へ白戸君ノ木材ヲ持タセテヤツタモノ
等アリ 自分塗料ヲ作りプロペラ二本塗ル

夕方太田來 晝頃ヨリ佐野ノ處ニ居リタル由 鳥飼氏ト折合悪ルキ爲メナリト

◆▼199ページ◆▲▼ 大正9(1920)年7月2日(金)

天気 晴

昨日ヨリ風ヤマズ

太田來 ツヒニヒマヲ出サレタル爲メト 山県ト相談ノ上何ントカセネバナルマイ
昨夜ノミ過ギ苦シク午後ヨリ漸ク仕事ニカハル
右記事ハ三日ノ分ナリ

◆▼200ページ◆▲▼ 大正9(1920)年7月3日(土)

天気 晴

朝少シ降リシモ後晴レル

七時半ニテ上京 洲崎ニ行ク 組合ノ人々ハ大分來テ居タ
十時頃飛行機來 スグ第一回ヲ撒ク 低空中上昇力ナク困難ス。第二回ハヨク點驗(マ
マ) 風モ又ツヨク大ニ昇ル スグ帰場ス
立石氏ニ會フ 鳥飼ニ行キ夕食後大ニヨッパツラテ(ママ)ツバメニ立寄り終列車ニテ帰ル
此記事ハ二日ノ分ナリ

◆▼201ページ◆▲▼ 大正9(1920)年7月4日(日)

天気 晴後曇

六時起床 自分ジヤイロ

正午過ぎ後藤ノ兄二人阪東外一名來 アトヨリ東京螺子ノ松本氏來
四時廿四分ニテ上京 洲崎芝浦イケスヘ行ク 久シ振りデアッタ 九時先キニ辭シテ帰
ル 三分チガヒテ終列車ニナル
太田ノ問題鳥飼氏ハ絶対ニカマツテ呉レルナトノコトデアッタ

◆▼202ページ◆▲▼ 大正9(1920)年7月5日(月)

天気 晴

佐藤登、佐藤鐵道來ル 鐵道ハ大辻ヘ同居 登ハ明日ヨリ來ル由 兄同道ニテ帰ル
自分ジヤイロ 夜ローンノ機体通りヲ直シテヤル

◆▼203ページ◆▲▼ 大正9(1920)年7月6日(火)

天気 晴

昨日モ又風

山県ジヤイロ塗料

太郎左衛門明朝發動機ガソリン取ル爲メ上京セシム

呉雄今日二回來ル

▲▼204ページ▲▼ 大正9(1920)年7月7日(水)

天気 晴

自分ジヤイロ 山県ジヤイロ塗料

夕方ヨリ後藤金ノコトニテ上京 共ニ山県ト太田ノ件ニテ鳥飼ニ行ク 京都飛行ノ契約書渡ス。太田ハ何ント云ツテモダメ 一度長谷氏ニ預ケルノダカラトノ意デツヒニ不調ニ終ル

▲▼205ページ▲▼ 大正9(1920)年7月8日(木)

天気 晴

夕方ノ汐風ヨリホールスカット試験 ホットエヤーヲ取ル調子ヨク千米突ニ達シテ着陸ス
夕方コレヲ予防注射ヲ行フ 廿五名

小松今朝ヨリ正午迄正気ツカズ大ニヨマル 午後ケロリト直ル

鳥飼氏來

齋藤岩三郎氏明日來ル旨ハガキ有リ

▲▼206ページ▲▼ 大正9(1920)年7月9日(金)

天気 晴

昨日少シ酒ヲノンダノガ非常ニ悪ルカッタカ今朝ムネ悪ク且ツ下利(ママ)シタ 九時頃
迄寢ル

齋藤氏十時頃來 三時過ギ帰ル 日本物産会社ノカン査役ヲシテ居ルトノコトデアツ

タ 常ニ天理教ノ教導職デアルソウナ

十一時前白戸ノ妻君ニテ來ル スグ帰ル

後チ阪東氏來 五百円受取ル 夕食後帰ル

▲▼207ページ▲▼ 大正9(1920)年7月10日(土)

天気 曇少雨

今日ハ大ニ奮勵シタガ午後カラ頭痛ガシテ困ツタ ツヒニ床ニツキ夜アンマヲ取ル
協会飛行会ノ打合セノ爲メ午後ヨリ山県後藤安岡、文達上京ス

▲▼208ページ▲▼ 大正9(1920)年7月11日(日)

天気 晴風

三時迄仕事 後チ千葉二行キ徳永氏ニ會ヒ延期ノコトヲ話シマグネットノ禮ヲ述ベ中元ヲ
贈ル 二十円奈良屋ノ切手
ニューム板着セズ 大坂へ打電ス
白戸ニ立寄ル 夕食後買物ヲナシ駅迄送ツテ貫ツテ帰ル

▲▼209ページ▲▼ 大正9(1920)年7月12日(月)

天気 晴

今朝練習アリ

兄ヨリノ電報ニヨリ上京 鳥飼氏宅ニテ會フ 通信省入札後三時ノ列車ニテ帰宅ス
午後阿部ヨリ明日謝ニ飛行シテ來イ 博覽會五日間千円ニテ手金取ツタトノ電報アリ
山県上京スルニ付スグ返事サセルコトニス ダシヌケニテ要領ヲ得ズ 殊ニ謝君上京不在
飛行不可能ノ返ヲサス

▲▼210ページ▲▼ 大正9(1920)年7月13日(火)

天気 晴

午前練習。今日ハ九時頃迄夜業
兄外所員五名ト晝食 アヒルヲ一羽買フ
今朝阿部へ都合悪イ來ラレタシト打電ス 午後來 夕食後帰ル

▲▼211ページ▲▼ 大正9(1920)年7月14日(水)

天気 晴

大車輪 夜十時過ぎ迄夜業
夕方鳥飼氏來 協会ハ絶対ニ廿一日ヲ延期セザル由。白戸ガ延バシテモヨイト云フナラ
延バストノコト 自分ニ白戸へ行ツテ呉レトノ意デアッタガ白戸ニ頼マズ前例ニヨツテ協会
ノ意思デア延期スル様シタ方宜カロウト決議ス 坂東後藤氏モ同感ナリ

▲▼212ページ▲▼ 大正9(1920)年7月15日(木)

天気 晴

朝一番ニテ白戸ニ行ク 昨日ノ話シヲス。白戸モソレデハ延バシタ方ヨカロウトノコトデア
ツタ

夕方坂東後山県不平 鳥飼氏ニカコツケテ云フ 争フベキコトニモアラザレバ捨テ居ク
但シ不平ヲ不平トシテ云ヒ得ル彼レハ幸福ナリ

石垣友人二人來 共ニ旅費ヲ與ヘ大坂ヘ三人共帰ラシム
兄今夕帰坂ス

▲▼213ページ▲▼ 大正9(1920)年7月16日(金)

天気 晴

小供ヲ稻毛ヘ御参リニ連レテ行ク

十一時半帰ル

午後鳥飼氏來 加藤正世練習費ノ件ニテ

杉村買物ニ上京セシム

仕事モ大分山ガ見エテ來タノデ今日ハ少シ帳簿ヲヤツタ

夜山県ヨリ大辻風紀問題ニテ注意セシム

大會八月二日ニ延期決定

▲▼214ページ▲▼ 大正9(1920)年7月17日(土)

天気 晴

自分タンク取付 來客ナシ

小松仁郎ヘ小松引取りノ件。大坂兄、大川塗料注文外一件手紙出ス

夜山県ノ写真現象(ママ)ス

▲▼215ページ▲▼ 大正9(1920)年7月18日(日)

天気 晴

正午練習アリ

鳥飼氏來 阪東後藤兄來 晝食

▲▼216ページ▲▼ 大正9(1920)年7月19日(月)

天気 晴

五月分記帳 來客ナシ

大川ヨリ塗料着

阿部ヨリ作振會對長岡問題解決迫飛行家クラブ設立ニ賛成シナイ様サレタシトノ手紙ガアツタ

▲▼217ページ▲▼ 大正9(1920)年7月20日(火)

天気 晴

夕方阪東氏來

▲▼218ページ▲▼ 大正9(1920)年7月21日(水)

天気 晴

イヨ、完成ニ近ツク ジャイロ、ローン發動機試験 ローン操縦器エロン重ク失敗ニ帰ス
千葉ニテ高橋宙返リ練習見ユ

▲▼219ページ▲▼ 大正9(1920)年7月22日(木)

天気 曇晴雨

ローン滑走一往復 ジャイロ滑走 帰リジャンプ 試験飛行終ル 坂東後藤兄、両氏見テ帰ル 午後中島練習生高橋氏來ル
夜所員全部洋食ニテ祝宴ヲ張ル

▲▼220ページ▲▼ 大正9(1920)年7月23日(金)

天気 晴後雨

ジャイロ―直線一回 風強ク練習休
晝食後千葉ニ行ク 白戸出發シタ後デアツタ 高橋明朝出發ノ予定
帰途吾妻俱樂部ニヨル

▲▼221ページ▲▼ 大正9(1920)年7月24日(土)

天気 晴雨

風強シ

終日昨夜ノビールノ爲メ氣持悪シク困ル

▲▼222ページ▲▼ 大正9(1920)年7月25日(日)

天気 晴雨

関西地方暴レタルヨシ 今日モ飛行出來ズ
午後坂東氏來 夕食後帰ル 何ニカ仕事ヲ依頼ス

▲▼223ページ▲▼ 大正9(1920)年7月26日(月)

天気 晴

晴レタレドモ風止マズ

今日ハローンノ勘定ヲヤル

高橋氏百五十手入レニ來ル 夜帰ル シリンダーノ取付ニ全部力ヲ附ケルコトニシタ

▲▼224ページ▲▼ 大正9(1920)年7月27日(火)

天気 晴

朝花月ノ人連鳥飼氏來 自動車三台ニテ

後藤氏ローン試験飛行 滑走一回 直線二回 最後ニ旋回着陸 頗ル良好

午後井上、数見來 数見氏ダシヌケニ株式会社發起人ノ委任状ト承認書ニ判ヲシテ

呉レトノコト 兎ニ角預ケテ居ク

▲▼225ページ▲▼ 大正9(1920)年7月28日(水)

帳簿整理

ローン飛行。ジャイロ試験不良

夜白戸氏來 夕食後帰ル

▲▼226ページ▲▼ 大正9(1920)年7月29日(木)

天気 晴夕立

阪東氏來 アト九百円ヨコス シキリニ安イ事ヲ謝シテ居タノデ請求スルコトハ止メタ
決局自分ノ損力。但シ機体ヲ又ツクルコトハ確實ラシカッタノデ其時ウメ合セラシヨウ
ローン千葉往復飛行 十分百五十ト同ジデアッタ 帰場後發動機ストップ。原因マダ
ネト ジャイロ一旋回無事 アトスグストップス

▲▼227ページ▲▼ 大正9(1920)年7月30日(金)

天気 晴

ローン試験 發動機ガソリンノ調セツ悪シク離陸スグストップス 練習中止
ジヤイロガソリンパイプ、コックノ位置附替ハカストル油ヲ使用シテ試験セントセシモ中止
百五十高橋氏來 組立 夕方試運轉良好 高橋一家夕方追遊ンデ帰ル
鳥飼氏晝食後帰京
謝文達洲崎へ晝前出發 無事着

▲▼228ページ▲▼ 大正9(1920)年7月31日(土)

天気晴

ローン試験成績良好 ループ一回インメルターン一回サイドスリップヲ行フ
百五十組立
ホールスカット組立 ジヤイロ試験出來ズ

▲▼230ページ▲▼ 八月

四百馬力別月ノ件
会社組製作所發展ノ件
鶴羽修理ノ件
フランクリン改造ノ件
協会へ金交渉ノ件

▲▼231ページ▲▼ 大正9(1920)年8月1日(日)

天気晴

一番ニテ父向ヘニ上京 鳥飼ニ立寄り帰場 十時ジヤイロ 一時頃高橋氏ニヨリ調子出
ル スグ洲崎ヘヤル 山県ローンニ同乗帰場 ホ式、百五十、ローン共ニ出發ノ予定ノ處ホ
式不良ノ爲メ中止 ローンノミ出發
白戸ノローン飛行セシモ洲崎ニ行カズ 夕食後見ニ行ク ケージ悪シク分解スリ合セ組
立中デアッタ 終列車ニテ帰ル

▲▼232ページ▲▼ 大正9(1920)年8月2日(月)

天気晴

二番ニテ上京 車中亀沢善チヤンニ會フ 共ニタクシーヲ飛バス
山県、安岡遅延 心配セシモ午後來 ソレヨリ先後藤五千米突ニ昇ル 謝千五百、島田

ノーム 中々ウマカッタ ホ式千三百七十 山県一時間ニテ三千三百七十二昇ル 百五十ヨクナッタノガヨカッタ 井上少将、山階ノ宮來場 午後フレザー会社ノフライングポート來場 低空ニテ急旋回中強イ追風ニテツヒニブリルニ入り二名共ソク死ス 自分ハ初メテホントーノ飛行機ノ墜落ヲ見タ 氣ノ毒デアッタガ、アマリ吾人ヲ馬鹿ニシタ 飛行振リデアッタ

夕方鳥飼氏ニ弔意ヲ依頼シテ父ト夕食ヲ蝶々ニテスマセ帰場 車ク徒歩
本日高度ノミニテ日クレアト明日十時ヨリトス

▲▼233ページ▲▼ 大正9(1920)年8月3日(火)

天気 晴

八時ニテ上京 場ニ行ク 予定通十時過ギヨリ開始 高等ハ後等(ママ)一人 山県連続ルーPLYラセタカッタガ頭ガ悪イカラト云フノデ中止シタ ホ式心配シタガイヅレモ無事 三時頃迄ニ皆帰場シタ 有楽町ニ行キ父、佐野其他ト日比谷デ夕食後猿ノ次良サンデ貰ツテ帰ル。山県後藤ニ會フ

▲▼234ページ▲▼ 大正9(1920)年8月4日(水)

天気 晴曇リ

大坂其他手紙二三本書キ後チ山県ト千葉へ高橋君慰問ニ行ク 皆所沢へ行ツテ不在 帰途自分一人大口ニ立寄ル

今朝少シ腹ガ痛トテ産婆ヲ呼ビニヤル 丁度六時男子出生 昨年ヨリズツト安産デアッタ 全勝ノ翌日ニ男子出生 實ニ愉快 余ノ幸福ヲ神ニ謝スト同時ニ白戸ノ不幸ヲ悲シム

▲▼235ページ▲▼ 大正9(1920)年8月5日(木)

天気 雨風

夜雷雨アリ

上京ノ予定ナリシモ天候悪シク中止 中晝ニ一同ト共ニス
広島佐野氏來 土産ヲ貰フ

▲▼236ページ▲▼ 大正9(1920)年8月6日(金)

天気 晴

日記後手紙ヲ書キ八時半ニテ上京 佐藤へ土産十五枚注文 松屋へ袴ヲ注文後鳥

飼ニ行キ長島屋へ橋材注文
鳥飼氏トノ勘定ヲナス 結局千七百余円ノ借金ニ大ニ驚イタ。夕方帰ル 兄ト會フ 兄
父佐野宅ニ泊ル 稲毛ノ母來泊ル
佐野休ミ

▲▼237ページ▲▼ 大正9(1920)年8月7日(土)

天気 雨晴風

終日帳簿整理ヲナス
兄上京ス

▲▼238ページ▲▼ 大正9(1920)年8月8日(日)

天気 雨後曇リ

午前中金ノ収支予算ナドヲ作ル
十時半ニテ上京 木材ノ買物ヲナシ鳥飼ニ行 松屋ニ袴ヲ請求ス ヤット間ニ合フ
三時十五分ヨリ式開カル 宮殿下旅行中ニテ坂谷男スベテヲ行ハル 終ツテ富士見軒ニ
テ宴アリ 坂谷男ノ挨拶、後藤君ノ答辭、田中館氏ノ度量器ニツイテノ話シアリテ終
ル
徳永氏へ世界的レコードノ件ニツキ話シヲナス

▲▼239ページ▲▼ 大正9(1920)年8月9日(月)

天気 晴雨

午前中後藤謝君ノ勘定ト懸賞金ノ分配方法等ヲ決定シ一時ニテ上京 鳥飼ニ行ク
白戸氏先程ヨリ待ツテ居タトノコト 協會ノ金ハ明日鳥飼氏ニ依頼ス
五時ヨリ兄白戸氏ト松本ニ行ク 井上、小栗スデニ待チ居リ夕食ナガラ俱樂部ノ目的
其他ヲ取キメ第一回ノ會合ヲ市川ガヨカロウトノコトニツヒニ十七日同所ニ決定 白戸
ト自分ト交渉ニ行ク 帰途電車ニ故障アリ終列車ニ間ニ合ハズ、葛飾停車場ヨリ徒歩。
船橋ノ旅館スデニ戸締リテ泊レズ一時半漸ク帰宅 入浴後ニ時床ニツク
話ノ種ヲ一ツ加フ

▲▼240ページ▲▼ 大正9(1920)年8月10日(火)

天気 晴雨

午前中謝後藤ノ勘定ヲナス

謝後藤夕方飛行機積込ミヲ終ル

午後上京 鳥飼氏ヨリ懸賞金受取り勘定ヲ終リ夕食後ツバメニ立寄り帰宅ス

▲▼241ページ▲▼ 大正9(1920)年8月11日(水)

天気 晴

安岡ノ勘定ヲ済マセ後藤ノ分勘定書ヲ鳥飼氏ニ預ケル

後藤午前出發

午後三時ヨリ父ト千葉ニ行ク 協会ヨリ徳永矢木ノ二氏ノミトノコト 七時頃矢木氏
來 梅松ニテ食事ヲ共ニス 父白戸夫人ト夕食ニ行ツタガ後チ又來リテ、一クサリジヨ
ウルリヲ語リテ終列車ニテ帰ル 車一台ヨリナク自分歩ム 兄來テ居タ

▲▼242ページ▲▼ 大正9(1920)年8月12日(木)

天気 晴

午前中謝ノ勘定ヲスマセ金受取ル

朝父ヤ兄ヨリ少シ大坂ノ家ノコトヲ聞ク

十二時五十分ニテ出發 東京ニテ一 ■ノシヤツナド買物 五時二十分出發ス 後藤坂
本、阿部、五平一行ト謝ト ■ 迄運送屋一行トモ同車ス 阿部ニ夕食オゴラサレル

▲▼243ページ▲▼ 大正9(1920)年8月13日(金)

天気 晴

七時着 丁度雨 自動車ニテ急ギ點呼場ニ行ク 丁度七時半 一分ノ遅刻ナク間ニ會
フ

點呼後國勢調査ノ件ニツキ区長ヨリ話アリ 二時帰宅 今日ハ心身ヲ休養ス

▲▼244ページ▲▼ 大正9(1920)年8月14日(土)

天気 晴

夕立アリ

朝竹島、井上、森田、佐渡島、中ヲ訪門(ママ)ス

夜謝菅ニ會フ 運賃ノ件ニツキスグ帰神セシム

中、五次郎ト中島君ヲ博覽會ニ訪フ 十一時帰宅

▲▼245ページ▲▼ 大正9(1920)年8月15日(日)

天気 晴雨アリ

七時ノ電車ニテ井上君外一名ト深草ニ行ク 午前風悪シク難航ナリシト 終リテ博覧會ニ行キ晝食後場ニ行ク 雨アリ ヒクク飛行後宿ニ行キ弍百円也受取り ■■■■宮崎久保田行ク予定 ■■■■モ■■■■スグ帰宅ス
今朝兄帰宅 夜床ニ入りテ ■■■■方針ヤ其他話シヲナス
菅佐々木百五十円渡ス

▲▼246ページ▲▼ 大正9(1920)年8月16日(月)

天気 曇リ

晝食後出發 十二時五十分ニテ京都ニ行ク 久保田ニ立寄り宮崎ニ行ク 後藤君ノ手傳ニ行クトノコト 來意ヲ父君ニツタエテ後藤君ヲ訪フ 待ツコト少時一同帰宿 久保田へ宮崎へノ事傳ヲナシ阿部ト夕食ヲ共ニ同君ニ少々注意ヲ與ヘテ八時ニテ出發ス

▲▼247ページ▲▼ 大正9(1920)年8月17日(火)

天気 晴

八時着鳥飼へ電話デ通知シスグ帰宅 金銭ノ出納ヲナシ帳簿ニ記入 練習アリ

藤原正幸昨日來場 練習後共ニ市川松桃園ニ行ク 市川駅ニテ白戸君ト一所ニナリ共ニ行ク 會則ニモ変更ヲ加へ、協議事項ハスベテ否決ス 即チ会ハゴク内輪ノモノトシ對外的行動ハ一切ナサザルコトトシ五時頃ヨリ食事ヲナシ七時頃散會ス 來會者十一名

▲▼248ページ▲▼ 大正9(1920)年8月18日(水)

天気 晴

帳簿記入ト決算準備 練習アリ 大工休ミ
リバティー製作ニ関シ稲垣氏尙自分ノ意見ヲ述ベル

▲▼249ページ▲▼ 大正9(1920)年8月19日(木)

六月ノ決算ヲナス 決極(ママ)千八百余円ノ決損デアッタ
山県イスバノ百八十鳥飼ニ買ツテ貰フコトニ決ス 飛行機後援會ノ金出來ナケレバ自分ノ處デ作テヤルコトニ話シス

午後稻垣上京

▲▼250ページ▲▼ 大正9(1920)年8月20日(金)

天気 晴雨

ケイカイ中ノタイ風モ来ラズ

晝食後千葉へ買物ニ行キ 白戸ニ立寄り夕方六時ニテ帰宅

▲▼251ページ▲▼ 大正9(1920)年8月21日(土)

天気 晴

協会提出ノ履歴書ヲ書キ安岡ノ分モ共ニ持参ス

白戸ト約束ニヨリ九時四十分ニ乗タガ白戸ハ居ナカッタ 亀井戸ノ日本セルロイドニ立寄り工場ヲ参観シ、佐藤、斎藤ニテ注文ヲナシ浅野ノ前ヲ通ツタノデーミリ板ヲ聞クト丁度アツタノデヒスパノト、四百分トヲ十枚注文ス。鳥飼ニ寄り晝食ヲ馳走ニナル白戸来タ。協会へ行キ奨励金下附願ヲ出ス。藤位へ見舞金五十円ヲ呉レタ。鳥飼ニ帰ル吉田来 少時話シテ帰ル

ピスパノ百八十製作予定ノ處スパット五千円デ買エルカラソレニ仕様トノ鳥飼氏ヨリ相談ヲ受ケタ ソレガヨカロウト云ツテ居イタガ山県ニ相談ノ爲メ明朝来ルコトニナツタ 白戸ト夕食ヲ鳥屋デヤツテ帰ツタ

▲▼252ページ▲▼ 大正9(1920)年8月22日(日)

天気 晴

朝練習アリ 鳥飼氏来 スパッド買フコトニ決定 半分自分負擔スルコトニナル 共ニ見に行ツテ呉レトノコトデアッタ

父山県ニ同乗飛行ス 年七十五才 本邦ニ於ケルレコードデアッタ
午後上半期ノ決算ヲヤル 決極(ママ)五百余円ノ決損ナレドモ山県へノ千円ヲ含メル故利益アリタル勘定ナリ 夜父ヨリ皆ニ馳走ス 後チ決算報告ヲナス
照井自分ニ飛行機ヲ買フ爲メノ運動ニ本日帰郷ス 廿円預リノ内ヨリ渡ス

▲▼253ページ▲▼ 大正9(1920)年8月23日(月)

天気 晴

不在中ノ事ハ皆ニタノミ八時四十分發ニテ出發 十一時半勝浦着 中食ハ変ナ宿引ニ引カレテ失敗 自動車ニテ興津迄行キ馬車ニ乗替小湊ニ行ク お仙コロガシハ奇険(ママ)

二六相違ナイガ別ニメツラシイ感ジハシナカッタ 小湊二三時頃ツキ鯛見物ヲナシ誕生寺ニ參詣シテ出發 途中小松原ヲ見物シ鴨川へ六時半頃着 吉田屋ニ泊ル 中々立派ナ宿デアッタ 自動車ノタノシダガ午後一時デナケレバナイトノコトデアッタ。アンマヲ取り床ニツク 前ノ坐敷ニビワ師ガ宿泊シ居リ時ニヨイ興キヨウデアッタ

▲▼254ページ▲▼ 大正9(1920)年8月24日(火)

天気晴

朝チツプヲ先キニヤリ自動車ヲ交渉セシム

十時ニテ出發出來十一時半北條着 海岸へ行き小松楼ニテ中食 感心セヌ海岸デアッタ 二時半ニテ出發 夕方帰宅ス

夜鳥飼ヨリ明日朝早く最(ママ)非來テ呉レトノ交渉ガオツタ使ガアッタ

▲▼255ページ▲▼ 大正9(1920)年8月25日(水)

天気晴

七時頃飛行機デ行ツタガモヤニテ着陸出來ズ帰場 晴レソウニモナイノデ九時ニテ上京鳥飼ニ行ク スパット入札ニナリ今朝入札 正午ハカルトノコト 晝食中村井ヨリ電話アリ 中島ハ高價ニテ落札トノコト アキラメテ百八十三テ作ルコトニナッタ 後チ日本ベニヤへ注文ニ立寄り、協会ニ行ク リバーティノ金五千円借入レノ件一言ノ下ニ事ハラレタ 大ニシヤクニサワル 丁度石橋來 スパッド石橋へ三千九百円ニテ三台落チシトノコト 丁度宅ト三百円ノ差デアッタ 聞ケバ昨夜鳥飼ヨリ交渉シタニモカ、ハラズ當方ニ先キヘ入札セシメ佛大使館武官ト知合アルヲ寄過(ママ)トシアトヨリ少シ高價ニ入札セルラシク大ニランガイ 一曾百八十三テ競争スベク決心ス。山県モ同感ナリ 馬詰ヨリ金沢外数ヶ所飛行ノ申込ミアリタリ

▲▼256ページ▲▼ 大正9(1920)年8月26日(木)

天気晴

晝食後父ト清平ヲ送ルベク上京 鳥飼ニ立寄ル

父ニ四百馬力ヲ見セル

本郷四百手入レニ上京セシム

馬詰鳥飼山県父ト夕食ヲ松本ニ取ル 馬詰ヨリ半金七百円受取ル 鳥飼保管 五時廿分ニテ父出發 大坂へ打電ス

▲▼257ページ▲▼ 大正9(1920)年8月27日(金)

天気 曇り

東北ノ風 練習ナシ

ホ式ノ函百五十二流用ヲ工風(ママ)ス

ヒス。パノ百八十メインプレシ構造ト運搬ノ工風(ママ)

七月分帳簿

百五十ト徳治ノ写真ヲ取ル

▲▼258ページ▲▼ 大正9(1920)年8月28日(土)

天気 晴

上京 山田亀吉ヘニツケルスチール問合セラ依頼ス

東京ネジニテタンバックボールトヲ注文シ鳥飼ニ寄り佐藤ヘモニツケルスチールヲ依頼シテ帰所ス

▲▼259ページ▲▼ 大正9(1920)年8月29日(日)

天気 晴

山県墜死ノ日

▲▼260ページ▲▼ 大正9(1920)年8月30日(月)

天気 晴

午後一時二十分ニテ父百太郎氏來 自分等迎ヘニ行キシモ會ワズ歸ル アトヨリ車ニテ來ル 非(ママ)歎見ルニシノビズ

今朝後藤阪東氏帰京來 後藤氏ノ顔ヲ見ルヤ涙止ラズ實ニ困ツタ

喜代市夫妻上京 スグ津田沼ニ行キシ由

▲▼261ページ▲▼ 大正9(1920)年8月31日(火)

天気 晴

久太郎兄モ來ル 正雄氏モ丁度大坂ヨリ一所ナリシ由 九時半鳥飼宅ヲ出デ丁度十時葬儀ニ初ム 弔辭ヲ讀ム間泣クマイト努力シタガ及バナカッタ 桐ヶ谷ニ運ンデ晝歸宅 食後各支拂ヲナシ香奠ハコトゴトク會計シテ金ト引合セ鳥飼ニ渡シテ歸宅ス 稲垣、佐野ニ今後ノ方針ト決心ヲ物語ル

稲毛ノ姉今朝死ストノコト 夜吉ヲヤル 今夜火葬ニシタトノコトテ歸ツテ來タ

◆▼264ページ◆▼ 大正9(1920)年9月1日(水)

天気 晴

原因調査ヲナス 航空局ヨリ二三名來 結局左翼上ソケットノウエルト不完全ナリシコトニ決ス 練習生ニ練習方針ヲ告グ

後藤氏來 山県ニ變リ山県ノ計畫ヲ其マ、実行シタシトノコトデアッタ。同君ガカク山県同様今後本所ノ爲メニ盡スコトヲチカワレノデ自口大ニ力ヲ得タ タゞ金ノ心配ヲ大ニ考ヘネバナラナイ

十一時ヨリ二時迄稲毛ヘ行ク

夜白戸氏兄ト共ニ來 九時デ帰ル 兄同行ス

◆▼265ページ◆▼ 大正9(1920)年9月2日(木)

天気 晴

三日ノ記事本日分ナリ 本日分ハ即チ四日ノ分ナリ

十一時頃佐野來 青島昨夜余床ニ入ツテ後來ル

齋藤千代吉氏妻君ニ九年振ニテ會フ 晝食後一時半ニテ上京 買物ヲナシ兄ト同車シテ出發ス 兄ト旅行ハ生來初メテナリ

◆▼266ページ◆▼ 大正9(1920)年9月3日(金)

天気 晴雷雨アリ

午前中練習生、助手ニ注意ヲ與ヘ且ツ練習方針ヲ立テテ午後上京 広島へ出發ヲ見送り、日本橋附近ニテ兄、白戸高木稲垣佐野ト夕食ヲ共ニシテ自分ハ稲毛ニ直行 トギスル予定ナリシモ十一時過ギ床ニツク

◆▼267ページ◆▼ 大正9(1920)年9月4日(土)

天気 晴

七時大坂デ兄ト別レ三時四十分広島着 佐野氏ト玉木迎ヘニ來テ居タ 山県宅ニ行き寺ヘノ心附ナドヲナシ礼拝シテ宿須藤ヘ引上ゲル

夕食時山県政夫、鳥飼両氏ヨリ山県家今後ノ方針ヲ聞ク 親戚關係ノ決定ノ上出來得ルダケノ事ヲナスベクチカウ

即チ弔慰金ヲ鳥飼保管シ其内ヨリ六十円ヅ、毎月広島へ送りモシ飛行場ニ入用ノ場合ハ日歩三錢ニテ借用出來ルコト等デアッタ

夜町ニ出テ文具品ヲ求メ帰宅 アンマヲ取ル

お清おみね二人尋ネテ來ル 清泣イテ昔語ヲシタ

▲▼268ページ▲▼ 大正9(1920)年9月5日(日)

天気晴

絶好日 八時キツカリ出棺ス 九時半慈仙寺着 式初マリ十時半終リ納骨ス 新ラシキ墓石 深キ穴 涙ヲサソウ 終ツテ再ビ讀経アリ 十一時半終リテ帰宅ス。夕方慈仙寺住職ト夕食ヲ吉村ニテ馳走ニナリ八時四十分發ニテ帰ル。幸、井上、佐伯庄、ヤスノ、ノブ、清外数名ノ見送リヲ受ケル 父兄其他モ今日ノ葬列ノ立派ナリシニイタク打嬉(ママ)ビ居タリ

▲▼269ページ▲▼ 大正9(1920)年9月6日(月)

天気晴

大坂着 自動車ニテ帰宅 入浴後竹島ニ行ク 佐渡島不在 井上ニ行キ二時頃帰宅 少時眠リ夕食ハ裏ニテ馳走ニナリ七時五十分ニテ出發ス 助手一名伊庭治ナルモノ履歷書ヲ見ルニ見込有リソウナルニヨリ夕方呼ビヨセ會フ 本ニ似タル處アリ 入所セシムルコトス

▲▼270ページ▲▼ 大正9(1920)年9月7日(火)

天気晴

マダクラカッタガ静岡デ顔ヲ洗ヒ帰場後ノ計畫ヲ立テ手帖ニ留メル 九時東京着 鳥飼ニ立寄りツバメニ行キ晝食 後一寢入ナシ三時四十分ニテ帰場ス。ニサイクル、フランクリン共ニ調子悪シトノコト ニサイクル分解中ナリキ 村井病氣尚癒エズ 西小路又本日午後ヨリ熱高ク夜醫師ヲ迎ヘ氷ニテ冷ス

▲▼271ページ▲▼ 大正9(1920)年9月8日(水)

天気 晴少曇リ

昨夜ヨリノ風強ク練習不能 丁度發動機手入レニ持ツテ來イノ日デアッタ 五時起床 フランクリン安岡合(ママ)手ニヤツタガ始動セズマグネトヲ調べル 油トゴミデ非常ニヨゴレテ居タ上スリップリングガ動イテ居タノデ安岡ニ上京 直シニヤル 夕方帰ル スグ組立ル

晝前白戸氏來 晝食後シバラクシテ帰ル 百円貸ス

照井昨朝帰場 本日経過ヲ聞ク コレ、後援會ヲ頼ルコトヲ意見シ自分ニ信頼ルカ退

場スルカーニツニーツヲエラベト云ツテ居ク

夜本郷ヲ呼ビ意見ヲ加ヘ金四十円ヲ與ヘ帰国セシム

▲▼272ページ▲▼ 大正9(1920)年9月9日(木)

天気 曇リ

フランクリン調子出ズ分解ス 夕方組立テホヽヨクナル

鳥飼氏來 墜落地ヲ見遺物ヲマトメテ帰ル ジヤイロ送ルコト、後藤君ノコト打合セラ
ナス 白戸君來 ローン提出ス 今夜盛岡ヘ金ノ心配ニ行クトノコト。金ノ相談ニ來タノ
ダロウガコチラモソコ處デハナカッタ

病人ハダンヽヨイ方デマツヨシ 稲毛ノ母昨日來タガ今日ハ腰ガイタイトテ立テナカッ
タ 夕方大田保険ノ再願ヒノ用紙ヲ持ツテ來ル

▲▼273ページ▲▼ 大正9(1920)年9月10日(金)

天気 曇後雨

病人ヲ見手紙ヲ整理ス

練習少シヤル 風アリ中止 フランクリン調子ヨクナル

九時四十分ニテ上京 鳥飼ニ立寄り協会ニ行ク 鳥飼ヨリ山県ニ対スル金ノコト話シシ
テ呉レトノコトナリシモ自分ハ云エナカッタ 年金ダケハ聞イタ 朝都合悪シク午後再ビ
行キテ山県安岡謝自分四人分受取ツテ帰ル

フレザー大鈴氏ト協会ニテ會フ 熊木氏同商会ヘ大社ノ件ニツイテ聞合セラレタ
山県ノカタミ分ケヲ受ケテ夕方佐藤ノ支拂ヲナシ帰宅ス

▲▼274ページ▲▼ 大正9(1920)年9月11日(土)

天気 雨

金銭出納帳簿ノ整理ナドヲナシ午後八稲垣、佐野、安岡等ト山県ノ墜死弔慰ニ対スル
礼状ヲ發送ス

午前安岡ヲ呼ビ奨励金中ニ割ヲ學校ニ納メルコトニ話ヲナス 四百円ハ即時渡ス
夕方方入浴中白戸君自動車ニテ今ローンヲ引取り來リタリトノコト スグ帰ツタ

▲▼275ページ▲▼ 大正9(1920)年9月12日(日)

天気 曇

鳥飼氏來 ヒスパノ買入レルコトニ決定ス 晝食後帰ル

午後ヨリ千葉ニ行ク 白戸ニテ夕食後帰ル 練習ヲシバラク見ル

▲▼276ページ▲▼ 大正9(1920)年9月13日(月)

天気 曇後晴

八時ニテ上京 目的山縣ノ禮廻リノ爲メ

途中買物ヲ少シナシ東京螺子ヘボールト注文ス 晝食後協会、フレザー、航空局、浅野侯、婦人後援会等ヘ行ク

阿部ニ會ヒ二十円貸ス

夕方白戸ト會フ ツバメニテ夕食 白戸オゴル 十時ニテ帰ル

▲▼277ページ▲▼ 大正9(1920)年9月14日(火)

天気 曇後雨

午前中仕事 練習ヲ少時見ル

十二時七分ニテ上京 加藤ノ式百五十円小切手入金セシニ不渡リ。山県弔慰ノ礼状ヲ出シ三時半出ル 丁度ジャイロ舟ニ積込ミ中ナリ

四時半池袋發 阿部稲垣佐野、安岡、洪、ト共ニ行ク 六時着細村屋ニツキスグ大島ヲ迎ヘニヤル 夕食後一方、阿部、稲垣、安岡ハ武田中尉ノ處ヘ行ク 自分ハ佐野大島ニ話聞ク 大ニ得ル處アリタリ
十二時過ギ床ニツク

▲▼278ページ▲▼ 大正9(1920)年9月15日(水)

天気 雨

八時ノ約速(ママ)ニ付行ク 陸軍航空學校トシテアッタ 新ラシイ健(ママ)物モ大分増シ觀測所ガ北ヘ移轉シテ居タ 武田大尉案内ニテ學校ヲ見學 佛国班練習生四名ノ飛行振ヲ見ル ニューポール廿三平方ニテ一ヶ月半トノコト 單獨ニテ實ニ見事ナ飛行振リデアッタ 阿部大尉ノスパッド飛行 伊庭サンノアブドヲ見テ工場ニ行ク 千賀氏ノ案内ニテスカリヨク見セテ貰フ 大ニ得ル處アリ 一時美好軒ニテ中食 原氏ニ會フ 四時廿分ニテ帰ル

両国ヨリ鳥飼氏ニ電話カケル 用ナシ スグ帰ル

▲▼279ページ▲▼ 大正9(1920)年9月16日(木)

天気 晴

秋空晴レテ氣持チヨカッタ
金錢ノ出納ヲナシ七月分ノ記帳ヲ初ム
夕方庭ヲ整理ス
夕方舟着 全員ニテ陸揚ヲナス
後藤ヨリ前ノエンジンシート十八日ニ取りニ行クカラスグ作レトノ電稻垣宛ニ來ル 板金
ヲ取りニヤリ玉置ヲ呼ビニヤル
白戸ノローン飛ンデ來タ 午後分解發送シタ由。

◆▼280ページ◆ 大正9(1920)年9月17日(金)

天気 晴

新規帳簿ヲ作ルベク口坐ヲツクル
稻垣氏令妹病篤ク電報ニヨリ帰京セラル
ジヤイロプレ組立ヲナス
午前玉置來 エンジンシート製作ニカゝル

◆▼281ページ◆ 大正9(1920)年9月18日(土)

天気 晴

朝山県墜死ノ地所ノ地割ヲナシ道ヲ繩張りス 坪五円ヅ、ナリト
ソコ鳥飼ヨリ使來 ジヤイロノタイミングヲ教ヘテ上京ス 藤原來リ居テ先キ三津田沼へ
帰ル 磯部氏來 發起人ノコト話シアリ 承諾書ハ出シタガ名ヲ發起人トシテ出スコトハ
世間ニ対シ面白カラザルベキヲ注意シテ居ク
山県記念號ニ付キ宮本組ト坂谷男ニ會フ 航空局ハ明後日月曜日ニ行クコトニシ香奠
ノ礼状ヲ發ス 夜ニ入り夕食後帰ル

◆▼282ページ◆ 大正9(1920)年9月19日(日)

天気 晴

朝フランクリンノ練習ヲ見ル 藤原モ出テ來タ 朝食後一同ヲ集メ山県死因其他ニツ
キ訓辭(ママ)ヲ與ヘル
ジヤイロノセンターヲ見テ再ビ取付 迎へ予定ノ處遅クナリ仕舞フ

◆▼283ページ◆ 大正9(1920)年9月20日(月)

天気 晴

八時ニテ上京 鳥飼ニ行ク 都竹氏電話ヲカケタガ不在
阿部來、馬詰來、日野氏來 大二話賑フ
晝食後スグ航空局ニ行ク 次長ニ山県記念號ノ贊助ヲ求ム スグ承諾ヲ得ル 尚ホ飛行機健(ママ)造ニ要スル補助スベク内定 目下陸軍省ニ交渉中トノコトデアッタ
久シ振リデ銀坐テ買物ヲナシツ、帰ル

▲▼284ページ▲▼ 大正9(1920)年9月21日(火)

天気 晴

七時半ローンシートヲ持チ上京 両国ヨリ車ニテ飯倉ニ送ラセ自分ハ佐藤ニ行ク 鳥飼氏來 記念號ノ寄附依頼ス 五十口貰フ。アトニ色々話シノ末共同ニテ製作所ヤ此コトヤルヤロットナツタ。マイバツハ二百六十馬力二千台モアルトノコト
日本俱樂部ノ打合せ會ニ行ク 高橋帰ツテ居タガ電報來 スグ弘前へ行ク
佐藤武馬詰、水田、石橋、小栗、白戸高橋島等大分賑カデアッタ 二時頃終ル

▲▼285ページ▲▼ 大正9(1920)年9月22日(水)

天気 晴曇

朝練習ヲ見帳簿ヲツケ手紙ヲ書ク
午後上京 佐藤ニ立寄りマイバツハ見ニ行ク日時ノ打合セラ頼ミ鳥飼ニ行ク 新聞記者数名ト會食 吉田君世話焼キヲナス 山県記念號建造寄附ニ対スル三面記事依頼ノ目的ヲ達シテ帰ル

▲▼286ページ▲▼ 大正9(1920)年9月23日(木)

天気 晴

七時半發 両国ニテ都竹氏へ電話ヲカケル
丁度佐伯氏が來テ居タノデ自動車デ日比谷迄送ツテ貰フ 鳥飼不在ニツキスグ都竹氏ヲ訪フ 約二千円バカリカ、明日見積リシテ送ルトノコトデアッタ 山県記念號へ五口申込ミアリ
鳥飼ニテ晝食後白木ニ買物ヲナシツバメニ行クスグ出預ケテ精養軒ニ行ク 明日デアッタ 馬鹿見テ再ビ帰リ夕食ナシ八時十分ニテ帰ル 船橋ヨリ眠リ幕張迄行キ過ギル

▲▼287ページ▲▼ 大正9(1920)年9月24日(金)

天気 晴

帳簿ヲ記ス

練習猛烈ニヤル

朝白戸妻君來 午後二時四十分ヨリ上京 佐藤ニ立寄り精養軒ニ行ク 五時十分前
誰レモ來テ居ナカッタ 五時ニ磯部氏來 アトハ六時過ギテ岡部、石川杉山三氏ガ見エ
タダケ 東京ノ紳士ナルモノガ之レデハダメダ 自分ノ意見ガ石川氏ノ大ニ意ニ充チ多
少氣持チヨカッタ 杉山氏ハ月島時代ノ知合デアッタ
九時ツバメニ立寄り終列ニテ帰ル

▲▼288ページ▲▼ 大正9(1920)年9月25日(土)

天気 晴雨

午前中記帳ト手紙

午後經濟上自分等ハ久々田ニ貸家アルトノコトニ引越シ所員ヲ金太郎ニマカナヒラサセ
テハ如何トノ議起リ其爲メ稲毛ニ行ク 大口モ賛成ス 夕方ヨリ工場ノ件ニテ大口ト千
葉ニ行ク 杉本ニ俱樂部ニテ會フ 終列ニテ帰ル

▲▼289ページ▲▼ 大正9(1920)年9月26日(日)

天気 曇リ

十五夜月アレドモ光カラズ

メヅラシク終日在宅。午後家ヲ見ニ行ク アマリ大キ過ギル様デアッタ 午後矢野氏來
夕食ヲ所員一同ト共ニシ夜帰ル
午前中新帳ノ口取リヲヤッタ

▲▼290ページ▲▼ 大正9(1920)年9月27日(月)

天気 曇リ

七時半ニテ上京 佐藤ニ行ク 打合セヲナス 佐藤主人今朝大阪ヨリ帰リタル由 矢野
氏遅レ十一時佐藤宅ヲ出テ阪本氏事ム所ヲ訪フ 晝食ノ馳走ニナリテ湯淺商店ノ三
田氏ト共ニ横浜ニ行ク。二百六十八五十台デアッテイヅレモ依頼販賣ヲ依頼サレタモノ
ノ由 價格ナドトテモ安イモノニ相違ナイト思ツタ

帰途矢野氏蒲田ニ帰ラル 佐藤ト夕食ヲ馳走ニナル 其節色々明日交渉ノ打合セヲナ
シ依頼ス

▲▼291ページ▲▼ 大正9(1920)年9月28日(火)

天気 晴

十二時六分ニテ上京。大島へシンプル注文ス 主人不在 日比谷ニ立寄り航空局ハ高度計拂下ゲノ件ニツキ行ク。照會ヲ貰ツテ四百馬力ノ件ニテ掛札サンニ會フ 高度計ノ件ニテ海軍省宮村中佐ニ會フ 拂下ハマダ前途遼遠デアッタ。鳥飼ニテ記念號ノ書キモノヲナシ、夕食後又グチニナル 長谷ヨリ金來タラ千円ノ半分貸シテ呉レトノコトデアッタ

◆▼292ページ◆▼ 大正9(1920)年9月29日(水)

天気 曇リ雨

六時半頃起キ出デ両国ニテ佐藤へ自動電話ヲカケ浅草駅ニテ朝食ヲナシ佐藤ヲ待ツ 十一時頃中島製作所ニツク 以前ニ増シテ盛大ニカツ工場ガチツジヨクナツテ居タ。令弟ニ會ヒ工場ヲ見ル 職工ノ働キ振りモ先年見タ頃トハ雲泥ノ差デアッタ 七百名ノ職工デ陸軍式一ヶ月二千台出來外ニ海軍ノ方ヲ目下六台製作中トノコト 水田中尉、阿部大尉ト會談後自動車ニテ尾島へ案内サレ石橋君ノスパッドヲ見ル 石橋君ニモ會フ スグ帰ル 明甚軒ニテ晝食ノ馳走ニナリ四時ニテ帰ル 八時十分ニル 雨盛ナリキ

◆▼293ページ◆▼ 大正9(1920)年9月30日(木)

天気 雨

午後白戸氏來ルトノコトニ待ツタガ雨ノ爲カツヒニ來ナカッタ
夜ニ入り益々風雨ハゲシク四年前ノ今月今夜ヲ思ワシメタ ホトンドテツ夜ヲシタ
自分ハ頭痛ノ爲メ起キナカッタ
補助帳ノ記入ト諸拂ヒヲナス

◆▼296ページ◆▼ 大正9(1920)年10月1日(金)

天気 晴

一點ノ雲ナク好晴 風引ト頭痛ハ去ラザリシモシイテ七時半ニテ上京 佐藤ト九時半ニテ新宿發
益田サン有川サンニ會フカ會フマイカ車中考ヘル 當分成功ニマカセル爲メ會ワヌコトニス 機体ハソ式中島式各一台ツ、シカナカッタ
二時半帰り四時約束ノ時間ニ神田ノ中華第一樓ニ着ク 佐野、安岡、稲垣、自分、佐藤、主人側洪、呉、七名ニテ初メタガ中々十人カ、テモ喰ヒ切レソウニナカッタ 六時半頃ヤットソレデモ大分残シテ帰ッタ

不在中鳥飼、坂本、在郷軍人代表者等來リタル由

▲▼297ページ▲▼ 大正9(1920)年10月2日(土)

天気 晴

午後上京 七百円長谷ヨリ千弍百円ノ内鳥飼ニ渡ス 嬉(ママ)ンデ居タガ今後一寸警戒ヲ要ス

佐藤、斎藤、ツバメ支拂ヲナシテ帰ル 佐藤マイバツハ返金タシセンバン注文ス

今日安岡始メテ同乗練習ヲ行ヒ自分ニハ到底出來ナイトテ泣キナガラ辭職ヲ申出デタリト

▲▼298ページ▲▼ 大正9(1920)年10月3日(日)

天気 晴

青島所沢へ出張セシム

帳簿記入手紙整理

午後矢野氏來 夕食後帰ル

午後練習ヲ見ル 安岡ヤ、ナレル 夜來リ會話 大ニヤルト云ツテ居タ

▲▼299ページ▲▼ 大正9(1920)年10月4日(月)

天気 晴夜雨

大工三名 二名ハプロペラバランス取り杵ヲ作ラセル

午後航空局次長、第一第二課長事ム官二名属一名來場見分ス 飛行學校合同ノ意

見ヲ述ベル 考ヘテ居クトノコトデアツタ

夕方ヨリ千葉ニ行ク 白戸宅ニテ夕食後帰ル

▲▼300ページ▲▼ 大正9(1920)年10月5日(火)

天気 晴

終日在宅

朝練習ヲ見ル 後チ帳簿記入

晝前鳥飼氏來 政夫氏モ來ル 晝食後鳥飼帰ル 夕食 政夫氏帰ル 佐野停車場迄見

送りサセル

夜早ク寝ル

▲▼301ページ▲▼ 大正9(1920)年10月6日(水)

天気晴

朝白戸氏來 イスパノ引取ル爲メ五百円貸シテ呉レトノコト 四百円サラヘテ貸ス
午後都竹氏來 終日協議ノ末各機着ト同時ニ半金アト六ヶ月ト云フコトニナル 少シ
金ハカ、リ過ギルガ頼ムコトニシタ

◆▼302ページ◆▼ 大正9(1920)年10月7日(木)

天気雨

終日雨 七月分簿記ヲ終ル 夕方少シ早く終リタルニヨリ秋蒔キノ草花ヲコク
夜晚シヤク後早く床ニ入ル

◆▼303ページ◆▼ 大正9(1920)年10月8日(金)

天気晴

八時ニテ上京 矢野氏ノ借ル家ヲ一寸サガス 駄目デアッタ 佐藤ニ立寄り湯浅へ直接
話シスベク交渉ヲス 午後一時共ニ行クコトニス
協会へ立寄り北尾ニ自分ノ希望ヲ述べ鳥飼ニ行 鳥飼本日広島へ行クトノコト 飛行會
ノ打合セヲナス 酒商十九乃至廿四ノ一二三日ハ婦人後援會、五日中将湯広告デア
ッタ

◆▼304ページ◆▼ 大正9(1920)年10月9日(土)

天気晴

八時半ニテ上京 湯浅ニ行ク 吉田氏ニ會フ マイバツハ三千円 メルセデス二千円内外
ニテ各一台ツ、購入スルコトニ決定ス 引取期先方ヨリ電話ニテ通知ノコト。二三買物ヲ
ナシ鳥飼ニ立寄り航空課ニ掛札大佐ヲ問フ リバーティーダメト決ス スグ千葉ニ行ク
白戸帰ラズ夕食後帰宅ス

◆▼305ページ◆▼ 大正9(1920)年10月10日(日)

天気晴

當地青年團ノ好意ニテ山県墜落地ノ地盛リヲナス 十時過ぎ、白戸夫妻、禿氏氏來
稲毛ニ行ク 白戸スグ帰ル 晝食ヲ共ニス 禿氏氏ヲ二時ニテ見送り帰宅ス
昨日古機体到着 手入レス

◆▼306ページ◆▼ 大正9(1920)年10月11日(月)

天気 晴

朝藤原、佐野ノ問題ニ幹部一同ヲ集メ會議ヲナシ一掃スルコトニツトム。練習機不足ニツキ藤原航空局ニ出張セシム

午後上京 佐藤ト鳥飼トチラモ不在 ツバメニテ時間ヲ消スベク立寄ル 白戸禺(ママ)然ニ來リ禿氏ヲ電話ニテ呼ビ十時ニテ帰ル 白戸東京ニ泊ル

▲▼307ページ▲▼ 大正9(1920)年10月12日(火)

天気 曇後雨

午後藤原神戸へ帰ル 共二十二時五十分ニテ上京 車中徳永氏ニ會フ 福永へ見ニ行クトノコト。銀座ニテ買物ヲナシ鳥飼ニ行ク マダ帰宅セズ 四時過ぎ佐藤ニ行ク 主人ト附近ノウナギ屋ニ行キ百六十購入金立替ノ件ヲタノム 快諾ス 白戸來 共ニ禿氏ニ會フベク下谷喜久家ニ行ク ツヒニ同氏來ラズ雨ノ中ヲ自動車ニテ帰ル 九時十分ニ乗ル

▲▼308ページ▲▼ 大正9(1920)年10月13日(水)

天気 曇少晴

朝新聞ヲ讀ンデル内ニ鬼頭氏來ラレタ 西森君入所ノ件 來月ヨリ練習サセルコトニチカフ 晝食ハ鳥ヲ馳走シ佐野、稲垣モ列ス 食後明日ヲ話シテ帰ラル 午後七分分ノ試算表ヲ作ル スグ一度デ合ツテ愉快ダッタ

洪ノ金ニツイテハ返金ノ出來ル否ヤヲ打明ケテ飛行機ヲ契約サセル方有利ダト考ヘタ 白戸君ノフレザー宛五百円ノ約手ニ裏書キス

後藤君飛行機廿五日迄ニツク 同君ハ廿一日迄ニ帰ルトノ打電アリ

鳥飼氏本日帰京セリ 明朝來ル由

期日十二月十五日

▲▼309ページ▲▼ 大正9(1920)年10月14日(木)

天気 晴

午前中写真焼付ニ数時間ヲ費ヤス

十一時半久保田旋回飛行ス 見事ナリ 終ツテ十二時五十分ニテ上京 鳥飼ニ行ク 其後ノ發動機ノ經過ニツキ話シヲナス 四時喜久家ニ鬼頭氏ヲ訪ヒ花月ニ案内ス 夕食後帰ル 十時ニ乗ル

▲▼310ページ▲▼ 大正9(1920)年10月15日(金)

天気 晴

午前十時半寺ヨリ参詣シテ貫ヒ一同山県ニ参拝シ又現場ニ於テ讀経シテ貫フ 後チ新
入生ノ爲メ一同ヲ呼び集メテ訓辭(ママ)ヲ與ヘホールスカット練習生ノミト久保田ノ旋
回祝ヒヲナス 終ツテ長山氏來 大坂ヨリノ資本家ニ見セル爲メ機ニ取付ケサセテ呉レ
トノコト承諾ス 三時十五分ニテ上京 鬼頭氏ト會ヒ鳥飼ニ行ク 六時頃ヨリ初マリ酒
宴後七時半辭シテ帰ル

▲▼311ページ▲▼ 大正9(1920)年10月16日(土)

天気 晴

八時ニテ上京 藤倉へ塗料ノ注文ニ行ク 梅北サンニ會フ 十一時半迄カゝル 大分イ
ロ、ノコトヲ聞イタ。帰途航空通信社ニ阿部ヲ訪フ 丁度居タ 大分立派ナ處デアッ
タ 松喜へ食事ニ行キ補助金ノコト阿部ニヨク同人ヨリノ言葉ノ如ク云ワセルコトニシタ
鳥飼ニ立寄り帰ル

今日上京車中徳永氏ニ會フ 大ニ談ジ明春ノ懸賞ヲ増スコトヲ話シテ居ク

▲▼312ページ▲▼ 大正9(1920)年10月17日(日)

天気 雨曇

矢野氏二名ヲ連テ來場 マイバツハ、リバティーニ付キ協儀(ママ)ス 晝食後二名ハ帰京
矢野、稻垣両氏ト千葉ニ行ク 白戸氏ノ仕事ヲ見夕食ヲ俱樂部ニテヤル 十時帰ル

▲▼313ページ▲▼ 大正9(1920)年10月18日(月)

天気 晴

時事 石橋洲崎へ飛來セリト 初メテナリ

湯浅ニテマイバツハノ引取期日ヲキメルベク上京セシモ車中ヨリ気分悪シクスグツバメニ行
キ一寢入リス 十二時頃起キスープロノミ湯浅阿部、鳥飼ニ電話ヲカケル 皆不在 帰
宅ス 山縣墜落地地所坪数ヲ取極メ金支拂ヒヲナス

▲▼314ページ▲▼ 大正9(1920)年10月19日(火)

天気 晴

日中記帳 式時四十分ニテ上京 佐藤立寄り鳥飼ニ行キ夕食後飛行士俱樂部ノ會合
ニ行ク 會スルモノ石橋、馬詰、小栗、白戸代、立石、玉井、井上 幹事ヲ小栗二代エ
ル 件其他會費ヲ取ル件ナドナリ

▲▼315ページ▲▼ 大正9(1920)年10月20日(水)

天気 曇り

ホ式昨日中ニ修理出来ベキモノマダナニモシテナカッタノデ今日ハ久シ振りニ自カラ手ヲ下シ夕方ツヒニ出来上ル
夜クタブレテ食後直チニ眠ル
陸地借入レノ地割ヲナス

▲▼316ページ▲▼ 大正9(1920)年10月21日(木)

天気 雨

朝記帳 午後千葉ニ行キイスパインノ分解ヲ見ル 大工ヲ頼ム 夕食後帰ル

▲▼317ページ▲▼ 大正9(1920)年10月22日(金)

天気 雨

午前中記帳 午後ヨリ木工ヲ手傳フ
夜又少時記帳

▲▼318ページ▲▼ 大正9(1920)年10月23日(土)

天気 曇り

久シ振りニ練習アリ

八時ニテ上京 スグ鳥飼ニ行ク 後藤氏ニ電話カケル 矢野氏來 津田沼へ入所シタシ
トノコト 給料ノ希望百五十円ニ六少々困ツタ 返事ハ與ヘナカッタ。午後後藤坂東氏來
雑談後後藤氏同道帰津 車中同氏ノ希望及ビ阪東氏ノ意見ヲ聞ク 自分ノ立場ヲモ
述ベル。車中千葉ノ年栄ノ丸マゲ姿ニ會フ 帰宅スレバニ村ミヤアリ 手紙來テ居タ 四
年振りデアル 気味ガ悪ルカッタ
後藤、高橋、五平、藤原、安岡、佐野稲垣ト夕食ヲ共ニス
本日ヨリ七時迄夜業ヲナス

▲▼319ページ▲▼ 大正9(1920)年10月24日(日)

天気 晴

七時半ニテ上京 佐藤ニ寄り湯浅へ引取り急グ件打合せヲナシ東京駅ニ行ク 鳥飼氏

等ト同車シ横濱港ニ到ル サイベリヤ丸甲板上ニ政夫氏ヲ見送ル 一等船室ヲ見タガ
小イサナ室ニ二人モ寢床ガアッタ アマリ立派ナモノトハ思ワナカッタ
正午出發 同五十五分ニテ帰京 阿部ニ電話ヲカケル 不在 帰途三越ヨリ三十円
ノ切手ヲ佐藤へ祝ニ持タセテヤル
帰所

夜少シ夜業ヲナス 助手連中ノ爲メ黒砂ヨリ大工二名來ル

▲▼320ページ▲▼ 大正9(1920)年10月25日(月)

天気晴

朝後藤氏ト共ニ練習ヲ見ル チットモ進歩シテ居ラナイノニ非(ママ)觀シタ
午後仕事ヲ手傳フ 夜八時迄帳簿ヲツケル

▲▼321ページ▲▼ 大正9(1920)年10月26日(火)

天気晴

八時四十分ニテ千葉ニ行ク 金四百円受取リルノー借リルコト話シヲマトメ白戸上京
ト共ニ帰ル 矢野氏待チ居ル 先ヅ稲垣氏ヲ満足ニ説キ次第ニ矢野氏ト話シヲナシ結
局百十五円ニテ話シヲマトメ十二月ヨリ來ルコトニナル 丁度終リタル處へ阪東氏來 経
営上ノ話シヲナス 夕食後帰ル

▲▼322ページ▲▼ 大正9(1920)年10月27日(水)

天気雨

終日記帳 八月分ヲ終リ九月ニカゝル

▲▼323ページ▲▼ 大正9(1920)年10月28日(木)

天気晴

急ニ思ヒ付キ八時半上京 佐藤ニ寄りピアノ線タンバツクヲ請求シ鳥飼ニ行ク ルノー
機体式百五十円ニテ學校部へ賣リヲ付ケル ルノー製作ノ件承諾ヲ得ル 阪東氏ニ電
話ヲカケ五百円受取ル 帰途佐藤ニ立寄り タンバツクノ返事遅クナリ夜ニ入ル 佐藤、
シヅキ両氏ト夕食ヲ馳走ニナル 九時十分ニテ帰ル
上京車中藤本氏ニ會フ セルロイドノ事ヲ聞ク

▲▼324ページ▲▼ 大正9(1920)年10月29日(金)

天気 雨

帳簿記入終日

矢野氏引越シ來ル

▲▼325ページ▲▼ 大正9(1920)年10月30日(土)

天気 晴

風引工合悪シカリシモ千葉二行キローンヲ兎ニ角借リテ帰ルコトニス
アンマヲ取り晝食後池田写真屋ニ立寄り加納屋呉服店ニテ着物ヲ注文シテ帰ル 夕方
ニナル 帰來仕事ハカドラザルニヤムヲ得ズ自分夜業ヲ初メ十一時半終ル 佐野ノ頼
リ少ナイニハ心細キヲ感ズル

▲▼326ページ▲▼ 大正9(1920)年10月31日(日)

天気 晴

坂東氏來

新翼板組立ヲナスベク大努力 夜十二時過ギヤット終ル 一時半床ニ入ル

▲▼328ページ▲▼ 十一月

木工具注文ノコト

マイバツハ引取りノコト 同製作ノコト

ローン改造ノコト

資金ノコト

リバティー製作ノコト

▲▼329ページ▲▼ 大正9(1920)年11月1日(月)

天気 晴後雨

後藤氏ノプレーン取付

午前矢野氏來 ローン八十馬力分解 晝食後共ニ上京 洲崎ニ行ク道々ローン改造ノコ
トヲ議シ決定ス 洲崎ニテ二時頃ヨリ雨トナル

後藤ツヒニ來ラズ水田氏一人 小栗氏ノ練習振りヲ見ル

徳永氏矢野君ト共ニ三時ニル 千葉ニ行キ別荘ニテ夕食 補修習(ママ)理金ノ件ヲ明
確ニスルコトヲ聞ク 大ニ得ル處アリ 八時五十五分ニテ帰ル

▲▼330ページ▲▼ 大正9(1920)年11月2日(火)

天気 晴

ローン百廿後藤ノ分試験飛行良好 後チ後チ飛行中マグネットギヤールミテ中止
高橋ノ分バックフワイヤーシテストップス 二回共 ツヒニ中止ス
夜業アリ
夜少シ帳簿付ケヲナス

▲▼331ページ▲▼ 大正9(1920)年11月3日(水)

天気 晴

時事 明治神宮最初ノ別祭日

本日ノ飛行日中止ノ入電アリ

朝早く白戸以下七八名自動車ニテ來 ローン手入レ後飛行ス 昨日ト同ジ 分解シテ
持チ帰ル

朝安岡上京 四ミリケーブルヲ購入セシム 品ナシトテ夕方帰ル スグ自分上京 五時
半佐藤ニツク 四ミリヲサガシ當テ百四十七米突ヲ持チ帰ル 同店ニテ白戸氏ニ會ヒソ
バ屋ニテ夕食後打合せシテツバメニ行キ十時ノ汽車ニテ帰ル 村井、西、伊庭車ヲ持ッ
テ迎ヘニ來テ居タガ乗ラズニ帰ル 十時迄夜業

▲▼332ページ▲▼ 大正9(1920)年11月4日(木)

天気 晴

村井母帰郷ニツキ見送リノ爲メ上京

格納庫工場シオ洪塗リ本日ヨリ初メル 大格納庫總面積約百坪ト木工所門全部ニテ
七十五円 三人來ル

稲垣氏白戸用ローンプロペラ型ヲ取ル

夕方稲毛ノ大口來

ローン翼布ヲ張ル

▲▼333ページ▲▼ 大正9(1920)年11月5日(金)

天気 晴

朝ニサイクルフランクリンノ練習ヲ見ル 猛烈ニヤラセル 洪本日單獨直線ヲヤル 上
手ナリト

久々田ノ新家へ引越シヲナス
午後村山氏ノ葬儀ニ列ス
本日塗料二回塗り終ル
夜藤原帰場ス

◆▼334ページ▲▼ 大正9(1920)年11月6日(土)

天気晴

五時半起床 初メテノ出勤 今日ハ藤原ガヤツテ居タガ自分モ練習ヲ見ル
プレーン塗料ヲホドコス タ方ワイヤーツケニカゝル
三時自分帰宅 方附モノヲナス
夜佐野、稲垣、後藤、青島、藤原、大辻、宮崎ヲ馳走ス

◆▼335ページ▲▼ 大正9(1920)年11月7日(日)

天気晴

五時半稲垣氏來 共ニ矢野氏ヲサソヒ千葉ニ行ク イス。パノ試験ヲ見ル爲メ 然ルニ間ニ
合ズ明日トノコト 島田ノローン今日單獨飛行ス 自重振大ニヨシ 晝食後帰ル
後藤機本日大ニ飛ブ
フランクリン、前ノシリンダー百五十ノ如クナル 分解ス

◆▼336ページ▲▼ 大正9(1920)年11月8日(月)

天気晴

五時半起床 朝食後研究所ニ行ク 散髪ヲナシフランクリンシリンダーヲ荷造リセシメ
八時半ニテ上京 佐藤ニコックヲタノミ、齋藤ニプロ。ペラ材料ヲ注文シ丸善へ支拂金ヲナ
シ鳥飼ニ行ク 新井君來 鶴羽所分ヲ頼マレル
晝食後大森ノ特種銅へ行キローンロットケージノ注文ヲナス 大森ダケニテハ、ワカラズ
帰途日蔭町通りノ店へ注文シテ帰ル 日本ベニヤ支拂ヲナス 鳥飼ニテ十月ノ勘定ヲナ
ス 六時ニテ帰場 津田沼駅ニテ玉木、長尾ニ會フ 玉木ノ事自分ヨリ鳥飼ニ話シテ呉
レトノコト 長尾ハステニ鳥飼ト話シ出來居ルモノト察ス 兎三角彼レヲ仕上ゲレバ鳥飼ニ
対スル義務ノ一端ヲ終ル筈ナリ

帰場ス 夜業ヲシツ、アリ 九時半帰宅 夕食後アンマヲ取り床ニ入ル
近來金支出多ク今月末ヲ大ニ心配ス 機体注文モ又大ニ考ザルベカラズ

◆▼337ページ▲▼ 大正9(1920)年11月9日(火)

天気 風曇リ

後藤氏ノ機完成ス 鳥飼氏來 玉木ノ事成午後帰宅行ニマカセルコトニ決ス 長尾來ルベシ 正午帰宅 鳥飼氏ト晝食 午後出勤セズ宅ノ整理ヲナス 千葉地方裁判所へ十八日ノ証人シラベ延期ヲ申込ム

▲▼338ページ▲▼ 大正9(1920)年11月10日(水)

天気 曇リ

風ヤ、強シ シカモ北東ノ風ナレドモ航空局ヨリ來ルトノコトニ試運轉ヲナス 直線一回 旋回四回一回 高度四百米 着陸充分ナラズ

岡本來ラル 風益々ツヨクツヒニ飛バズ

内田忠治ジヤイロ購入 八百円手金鳥飼受取りタリト 同人本日見ニ來ル 午後後藤氏ト成田山へ参拜 帰途白戸ニ寄ル 主人不在 夕食後帰ル

▲▼339ページ▲▼ 大正9(1920)年11月11日(木)

天気 曇雨

午前中出勤 後藤氏其他出張 飛行機發送ノ件ヲ取極メル

午後上京 太田ヘロット見積リヲ依頼シ佐藤(ボールト)ヲ頼ミ鳥飼ニ行キ内田ノ話シ聞ク 四千弍百円トノコト 廿五日前ニ取引スル由 スグ新田ニ行キ都筑氏ニ會ヒ丸鋸トカンナヲ注文ス 千七百六十円 現金ナレバ千六百五十円。

帰途佐藤ニヨリボールト受取り帰ル 車中久保田ニ會フ

▲▼340ページ▲▼ 大正9(1920)年11月12日(金)

天気 雨

朝八時出勤 工場ノ仕事ヲ見又仕事ヲ與ヘテ帰宅 帳簿記入 三時頃再び出勤 見廻リテ帰宅 夜ローン改造 翼ノ勘定ヲナス 夜佐藤登氏來 金出來ズ十八日頃神戸へ金策ニ行クカラ待ツテ呉レトノコトニ承認ヲ與ヘル

▲▼341ページ▲▼ 大正9(1920)年11月13日(土)

天気 晴

六時研究所ニ行ク 美雄ガ來テ居タ 佐野ニ立寄り仕事ノ打合せヲナシ自分ハ千葉ニ行ク ローンシンダー内ニピストンヲハメ込ミヌケズ大サワギ中デアッタ 白戸スグ上京フレザーノ百廿ヲ買入レニ行ク 其金ノ爲メ自分モ一寸帰場スグ上京 阪東氏ニ行

ク 會エズアトヨリ鳥飼へ持参セラル 但シ小切手。阿部ニ立寄ル 鳥飼ニテ白戸ト一所
ニナリ帰ル 明後日五百円フレザーへノ手金立替ルコトニス

▲▼342ページ▲▼ 大正9(1920)年11月14日(日)

天気 晴

工場ニ行ク 仕事ヲ見正午帰宅 写真帖ノ整理ヲナス 夕方馬詰氏ノ飛行機來 自動
車ニテ運搬中下ノロンゲロン二本ヲ折損シ來ル
夜佐野以下所員ヲ集メ不在中ノ事及仕事ヲ議シ明朝村井以下元志適合計四名所沢
ニ出張セシムベク照(ママ)介状ヲ二三通書ク

▲▼343ページ▲▼ 大正9(1920)年11月15日(月)

天気 晴

五時村井以下出發ス 白戸ヨリプロペラ取りニ來ル 金ノ件ニツキ何シノ打合セモナシ
ヤ、不満ヲ感ズ 十時ニテ上京 佐藤ニ立寄ル 不在 鳥飼ニ行キ不在中ノ事ヲ依頼シ
注文品其他ハソレゾレ方付ケ四時ヨリ佐藤ニ會フベク開花ニ行ク 夕食ヲ共ニシ出資ノコ
トヲ議ス 五千円出スト云フノデ五千円現金出資五千円ハ隔(ママ)通資金トシテ佐藤
保管ノコトニテ決ス
阿部ニ會ヒ二千円航空年監(ママ)内金トシテ渡ス
八時二三等急行ニ乗ル

▲▼344ページ▲▼ 大正9(1920)年11月16日(火)

天気 晴

九時四十分無事着 帰宅 鳥飼ト宅へ手紙ニ通ヲ出ス
入浴 午後夕方五平來 ニヨニテコーヒヲノミスシヲ土産ニ持タセテヤル
夜兄ト相談シテ花環ヲ送ルカ旗ニシヨカ聞合セニ出タ 十時帰宅 寢ル

▲▼345ページ▲▼ 大正9(1920)年11月17日(水)

天気 曇後雨

竹島へ挨拶ニ行ク 後チ西店へ行キ本店ニ立寄り坂口ニ會フ 花保ニテ二分ノ銅管ヲ買
ヒ松ノ家ニ行ク 練兵場へスグ行ク 後藤、藤原ニ會フ ローンマダ來ラズ 高橋信田奔
走ス。石橋ニモ會フ 機体組立中デアッタ。後藤、藤原、奈須君ト晝食ヲ共ニス 後チニ
ヨニテコーヒヲノミ帰宅。後藤君貨車ノ件ニテ帰ル

夜白戸原屋旅館ヨリ電話アリ 合計十一名來ル 八時床ニ入ル 雨シキリナリ
西店主人イツモナガラ感謝ニ堪エザル態度ニテ應接セラル 竹島主人アダカモ厄介人ニ
接スルガ如ク大ニシヤクニサワル

▲▼346ページ▲▼ 大正9(1920)年11月18日(木)

天気 曇リ

朝入場章ヲ作り自身前中、中山、西店及ヒ本店へ持參シ速度計ノパイプヲ求メテ場ニ
行ク 機体組立中ニテ五平、高橋居ラズ 自分モ手傳フ
組立後發動機試験 調子悪シク夜十一時迄カ、ルヤット原因ノガソリンニアルコトヲ
發見シ帰ル 帰途新世界ニテ夕食ヲ喰ヒ帰宅 一時床ニ入ル

▲▼347ページ▲▼ 大正9(1920)年11月19日(金)

天気 晴

ステキナ好晴 水田石橋朝飛ブ 着陸後自分行ク 後藤ノローン試験 苦心ノ末ガソ
リンパイプ連結法ヲ換ヘヨクナル 夕方試飛行 二十五分間 成績良シ 白戸ノローン
高橋飛ビ後チイスパノヲヤル 着陸悪シクシヤフトヲ曲ゲル
阿部鳥飼氏來ル 白戸ハツ子來 夕方皆兄ガ電気へ連レテ行ク 自分等ハ大坂ホテルへ
行ク 會スルモノ後藤、石橋、茂呂、白戸、安井、自分。

▲▼348ページ▲▼ 大正9(1920)年11月20日(土)

天気 雨

早朝ヨリ曇リテ次第第二雨降ル 晝前迄止ンダリ降ツタリニ氣ヲモム 中止ト決定シテ一
時頃引上ゲル。阿部、鳥飼、自分、フレザー矢野ト蠣料理ニ行ク 一度帰リテ実印ヲ
持チ原屋へ行ク 白戸オソク帰ル フレザー渡シノ式千円 小切手約束手形裏書ヲナス
後チ夕食ニ行キシモ喰ヘズ九時帰宅 床ニ入ル

▲▼349ページ▲▼ 大正9(1920)年11月21日(日)

天気 晴

西風強シ 島田先登出發セシモパン、ヲヤリテ着陸 ストップ遅ク土堤ニ突キ上ゲ破
損 石橋、水田、後藤、高橋無事出發 皆無事善通寺着 後藤機速力遅ク実ニ非(ママ)
觀ス

島田破壊機汽車積ミナシ白戸ノ宿ニ行ク スデニ出發後デアッタ 妻君來ラズ帰宅

鳥飼氏七時五十分ニテ帰京 見送ル

▲▼3550ページ▲▼ 大正9(1920)年11月22日(月)

天気 晴

後藤機速力オソキコト設計アヤマリナリ 何ントシテモ気が済マズ久留米へ詫ヒ方々行クコトニ決シ矢野君ト十時四十分ニテ神戸ノ川西工場ヲ見ニ行キ矢野氏ヲノコシ自分ハスグ次ギノ列車ニテ久留米へ直行ス
阿部矢野今夕帰京ノ予定

▲▼3551ページ▲▼ 大正9(1920)年11月23日(火)

天気 曇リ

門司ニテ夜ハ明ケル 十時半久留米着 島田大場ニ會ヒ共ニ行ク 後藤機出發セリトノ報アリ 一時間五分ニテ來ル 着陸モヨシ 次ギニ石橋、高橋來 高橋着陸ノ際足ヲ折ル 雨降ル 高橋機取方附ケ後白戸ノ宿ニ行キ入浴後料理屋へ夕食ニ行ク 食中バニテ時間ニナリ余獨リ六時二十二分ニテ出發 帰途ニツク 十一時再ビ関門ヲ通過シ列車ニ投ズ 寢台ヲ取り眠ル

▲▼3552ページ▲▼ 大正9(1920)年11月24日(水)

天気 晴

広島辺ニテ夜明ケル 神戸迄ニ雑誌ヲ讀ミ且ツ仕事ノ予定ヲ作ル
住吉ニテ下車 佐渡島ヲ訪フ 老主人來合セ居ラレ挨拶シテスグ帰ル 白戸ノ妻君宅ニ居ル 夕食後五次郎ト新世界ニ行キヤヨヒニテ一杯ノム オソクナル 二時帰宅 桃太郎來ル

▲▼3553ページ▲▼ 大正9(1920)年11月25日(木)

天気 晴

本日佐渡島へ報告ヲナシ神戸へ行キ夕方帰京ノ予定ノ處朝白戸夫人ヲ駅ニ送り帰宅 入浴後高橋來ル 白戸夫人アトヨリ又來テスグ連レテ帰ル
佐渡島へ行キ利子ヲ支拂ヒ諸般ノ報告ト計畫ヲ語ル 然ルニ佐藤出資ノコトイタク主人ノ氣ニナリツヒニ此際小規模ノ株式組織ニセヨトノ意見ニテ竹島ノ内意ヲ得ヨトノコト スグ竹島ニ行ク 主人本日氣(ママ)嫌ヨク佐渡島ニマカセ、サンセイストノコトニスグ又引返シテ佐渡島ニ行ク 谷崎へ行カレテ不在 帰途活動ヲ見テ帰宅 夕食後鳥飼ト

吉へ手紙ヲ書キ廿一日ヨリノ日記ヲツケル

▲▼354ページ▲▼ 大正9(1920)年11月26日(金)

天気晴

入浴後十時半佐渡島ニ行ク 主人直接竹島主人へ電話ヲカケコニ全ク話極ル
自分ハ一先ヅ帰京 現在財産ヲ調べ報告スルコト 其間ニ當地ノ方進行シテ貰フコトニ
決ス。自分神戸へ發動機調べニ行ク ナシ 帰宅ス 佐渡島ヨリ電話アリトノコトニ電話
スル 中山氏今夜上京スルニ付キ設立ノコト中山氏へ一任シタカラ同氏トヨク相談シテ
呉レトノコトニ七時十二分ニ同道上京ス
車中中山氏ハ知合ヒ有リ寢台ニ行ク 余ハ北島氏ニ會ヒ大ニ話ス

▲▼355ページ▲▼ 大正9(1920)年11月27日(土)

天気晴

横浜デ京都カラ乗ツテ居タ岡大尉ニ會フ 東京着後中山氏商用ニ行ク 其間自分鳥
飼ニテ待ツ 午後一時ツヒニ用件スマズ明朝行クトノコトニスグ帰途ニツク マイバツハヨク
キマラズ吉岡氏ニ電話セシモ不在
帰場 工場ニ行ク 長尾ニ三日前ヨリ來場 玉木今夜來ル 夜宅ニテ佐野、稲垣ニ経
過報告ス

▲▼356ページ▲▼ 大正9(1920)年11月28日(日)

天気晴

晝過ぎ中山氏來場 一時五十分ニテ帰ル 一通リ希望ト現在ノ状態ヲ話シアトヨリ予
算書現在ノ財産調べ將來ノ希望ヲ書イタモノヲ送り後チ自分下坂ノコトニ打合せヲナ
ス

三時ニテ千葉ニ行ク 高橋君病氣デ寢テ居タ 夕食後停車場迄送ツテ呉レタガムラ、
ト又降りテ倶楽部ニ行キ終列車ニ乗ル 乗り過ぎテ亀井戸ニ下車 附近ノ宿ニ泊ル

▲▼357ページ▲▼ 大正9(1920)年11月29日(月)

天気晴

八時起床 頭ハナントモナカッタガ氣持チ悪ルカッタ 八時半ニテ帰ル 河盛阿部両氏
來ルトノコトニ少シ床ニ入ル 都合ニテ來ラズトノ電アリ
夕方工場ニ行ク

夜広吉ニ工場ノ件見積リセシム

▲▼358ページ▲▼ 大正9(1920)年11月30日(火)

天気 晴

謝文達見積書中山氏予算書ヲ送ル
午後二時間程出勤 帰宅帳簿
夜長野県ヨリ一青年來 注意ヲ與ヘテ返ス

▲▼359ページ▲▼ 補遺

木工具一部注文済ミ
マイバツハ不得要領
ローン改造中
資本株式会社設立確定
リバティー製作未定

▲▼360ページ▲▼ 十二月

工場健(ママ)築着手ノ件
会社確定設立ノ件
リバティー製作確定ノ件
マイバツハ確定ノ件
ローン宙返リ用製作開始ノ件

▲▼361ページ▲▼ 大正9(1920)年12月1日(水)

天気 晴

矢野氏引越ヲ所員ニ手傳ワシム 朝ノ内ニ終ル
午後所員練習
金銭ノ入ト出ノ予算ヲ作ル 九月分記帳終ル
夜紀行文ヲ讀ム 早ク床ニ入ル
稲垣君上京

▲▼362ページ▲▼ 大正9(1920)年12月2日(木)

天気 曇り

終日記帳 九月決算勘定合ワズ困難ヲ極ム
矢野君上京 ローンカントクノ爲メ
工場へ二回見廻リニ行ク

▲▼363ページ▲▼ 大正9(1920)年12月3日(金)

天気 雨

朝一回午後一回見ニ行ク
九月分決算合ワ
白戸成田へ行キシトテ土産ヲ貰フ
藤原ニ事傳テ

▲▼364ページ▲▼ 大正9(1920)年12月4日(土)

天気 晴

七時起床 牛乳ヲノミ工場ニ行ク 皆スデニ仕事ニツイテ居タ 九時帰宅 矢野氏出勤
ト會フ 新聞ヲ讀ム處へ鳥飼氏來 工場ニ行ク 帰ル迄自分昨夜貰ツタカモヲ料理ス
共ニ晝食 ローン八十宙返リ用ト記念號ヲ作ルコトヲ決定ス
井原ノ父來ル 性格ト將來ニツキ自分ノ意見ヲ述ベル
十月分記帳ヲ終リ工場ニ行ク 五時仕事終リテ帰ル 入浴夕食後十月分決算ヲ行フ

▲▼365ページ▲▼ 大正9(1920)年12月5日(日)

天気 曇少雨

練習アリ 久保田大二上達ス
七時半出勤 九時帰ル 十時白戸君來 金貳百円ばかり入用ノコトナレドモ自分ニモナ
シ 晝食後雑談シテ三時帰ル 矢野君大坂行ノコトヲ話シ以來如何ニ苦シクテモ決シテ
頼マナイト気焰ヲ上ゲテ帰ツタ ロノ聞キ方ヲ知ラナイ馬鹿ダ
夕方出勤 帰途佐野ニ立寄ル 佐藤鈴子來ルトノコトニ帰宅ス 成程來テ居タガアマリ
ノ不意ト且ツ自宅ニ直接來タコトガヨク意ガワカラナカッタ 四時頃ヨリ九時迄居タガ
何ソノ話シモナク戒名ヲ写シテ行ツタダケデアッタ 七時頃お春サンガ來テ呉レタノデ
ヤレ、思タ 之レモ馬鹿ニ近い様ダ

◆▼366ページ◆▼ 大正9(1920)年12月6日(月)

天気 晴

十月決算終ル

黒砂ノ大工來

夕方ヨリ上京 佐藤ニ會ヒ大坂ノ模様話ス 帰途ツバメニ立寄り帰ル

◆▼367ページ◆▼ 大正9(1920)年12月7日(火)

天気 雪

學校部ノ決算ヲナス

十二時六分ニテ上京 朝來雪降ル 市川附近カラ大分積ツテ居タ 車中白戸夫人ニ會

フ 今日賞金授與式アル由 高橋等外ニ付不平ヲ聞カサル

鳥飼ニ行キ勘定ヲナシ白戸夫人ノマネキヨリ今朝へ行ク 高橋ツヒニ授與式ニ行カズソ
レニ付辨明書ヲ書クベク阿部ヲ呼ビニヤル 夫人ヨツパラツテツヒニ終列車ニ間ニ合ワズ高
橋ニ送ラセテ竹須ヘヤル 自分ハ両国迄帰り泊ル

◆▼368ページ◆▼ 大正9(1920)年12月8日(水)

天気 晴

八時十分ニテ帰宅 工場ニ行キ終リテ晝迄寢ル 見學生來

午後ヨリ帳簿決算ヲナス

白戸ヨリ上京シテ呉レトノ電アリシモ行ケズ

佐藤君待チシモ來ラズ

木工一名來 應接ス 一兩日中ニ返事アル筈

◆▼369ページ◆▼ 大正9(1920)年12月9日(木)

天気 晴

三時起床 帳簿ヲツケル 六時一番ニテ白戸ニ行ク 昨夜東京泊リノ由 スグ帰宅ス

鳥飼ヨリ白戸待ツテ居ルカラスグ來テ呉レトノコト 工場ニ行キ留都(マ)中ノコトヲ依

頼シ帰りカケタ處ヘ佐藤君來 引返シテ話シヲ聞ク ローンニ似タロータリーヲ買ツタト

ノコト 後藤君ノト同ジ機体デ作ルコトニ決ス 十一時ニテ共ニ上京 開花ニテ晝食ヲ共

ニシ佐藤ヘ立寄り鳥飼ニ行ク 白戸ト妻君ガ居タ フレザ一千元ノ約デ判ヲ押シ期間ニ

月十五日 白戸協會ヨリ金受取りタリト千五百円受取ル 五百円後藤君ニ事傳テ宅

ヘ持タセテヤル

鳥飼氏五時二十分發 自分七時半發 大辻ノ兄ニ會フ

▲▼370ページ▲▼ 大正9(1920)年12月10日(金)

天気 晴

帰宅入浴後晝食 竹島へ挨拶ニ行キ午後西店ニ行ク 不在 夕方迄待ツ 一寸會ツテ中山氏ト會合ノ上トノコトニテ中山氏ヲ待ツ 六時頃事ム所ニテ兄ト會フ 共ニ大豊ニ行キ打合セヲナス
帰途井上君ヲ訪フ 不在

▲▼371ページ▲▼ 大正9(1920)年12月11日(土)

天気 雨

朝入浴後仕度シテ中山氏事ム所ヲ訪フ 十二時迄ニ大体ノ書類ヲ作り清書ヲ同氏ニ依頼ス 明日ハ日曜 明後日ハ法事ノ爲メ帰國 十四日午後會合ヲ乞フコトニ決定シ晝食後西店ニ行ク 十四日ノ許可ヲ得テ帰ル
夜裏ノ姉ト小供二人ヲ連レテ新世界ノ活動ヲ見ル

▲▼372ページ▲▼ 大正9(1920)年12月12日(日)

天気 雨

七時半起床 藤原來 入浴朝食ニ行ク 飛行機作ルベク相談ヲ受ケル スグ帰ル
竹島ニ行キ明日出席ヲ乞フ 出席ハセザレドモ西店ノ極メラレタコトナラバヨロシイトノ返ヲ得 後チ工場ニ行ク 夜泊ルコトニス 十時前鳥飼氏來ルトノ電報ニ接シスグ梅田へ行ク 練習生一名過日ヨリ話ノモノ同道ス 一時眠ル

▲▼373ページ▲▼ 大正9(1920)年12月13日(月)

天気 晴キリ深シ

朝入浴朝食ノ時風呂ニテ學校合同問題ヲ話ス スベテ君ノ意見通りニマカセルトノコトニテ引受ケルコトニナル 晝食後散歩ニ出後チ夕食後梅田迄見送ル
後チ帰途工場ニ兄ヲ訪フ 自分トシテハ其後考ヘタル處左ノ如シ
現在ノモノデ現在ノ時價ノマ、買取り全部株券ニスルコト 外ニジヤイロー一台ヲ鳥飼ト自分へ 學校部ノ勤勞トシテ貰フコト

右貰ツタジヤイロー賣ツタ金ニテローンヲ共同ニテ作り地方興業(ママ)ヲナスコト

▲▼374ページ▲▼ 大正9(1920)年12月14日(火)

天気晴

朝食後兄ト中山氏ヲ事ム所ニ訪フ 晝過ル迄待ツ 阿部來ル

先日ノ書類ヲ學校部合同ニ改メ書キ直シ條件モ承認ヲ得テ西店へ中山、兄両氏ト行

ク 主人散(ママ)成セラレスグ其旨竹島へ電話サル 夕方同主人ヨリ竹島氏ノ同意ヲ得

雁風呂ニテ夕食ヲ共ニシ阿部ヲ紹介(ママ)ス

今夜八時白戸立ツ 最(ママ)非會ヒタシトノ電報アリタリ

▲▼375ページ▲▼ 大正9(1920)年12月15日(水)

天気晴

温泉ニテ入浴 朝食後阿部君ニ歴史ト趣意書ヲ書カセル 時間ニナツタノデ西へ自動車

ヲ見ニヤツタラ居ナイノデ南海迄車デ行キノヨリタクシーニテヤット間ニ合フ 然ルニ

本人來ラズ馬鹿ヲ見テ帰ル

阿部十一時四十分ニテ立ツ 午後西店へ行ク 中山氏來 相談ノ上二人デ本店へ行キ

若主人ニ會フ 困難ノ話シヲ又聞カサレタガ決(ママ)局持ツニハ持ツトノコトデ話シヲ切

リ帰ル

夕方井上君ト夕食ヲ共ニス

▲▼376ページ▲▼ 大正9(1920)年12月16日(木)

天気晴

七時起床入浴

写真帖ヲ西店へタノミ神戸ニ行ク 係リ不在ニテ要領ヲ得ズ藤原ニ立寄り帰ル 三時半

西店ニ行ク 四時半迄待ツタガ中山及ビ小主人帰ラズ 多分遅クナルベシトノコトニ帰

途青島ヨリ夕食ヲ帰ル 兄ヨリ聞ケバ今日差支ノ由電話アリタリト

▲▼377ページ▲▼ 大正9(1920)年12月17日(金)

天気晴

入浴朝食後兄ト西店ニ立寄り中山氏ヲ日本亜鉛館ニ訪フ 組織変更ニ六十万円 廿万

円デハ株式会社ニアマリ小サスギルノデ社團法人ニシテハ如何トノコトデ共ニ平野町ノ

辨護士吉田氏ヲ訪ヒ手續キ其他ノ聞合セヲナス 尚クワシクハ府廳ニテ聞キ四時頃中

山氏迄返スルトノコトデアッタ 自分ハソヨリ京都ノ久保田ニ行キ同人助教ニスルコト

ヲ語り金二百三円貸金ヲ受取ル 稲垣ニ立寄りテ夕方帰ル

夜タイクツナノデ天勝ヲ見ニ行ク。
砲兵工廠今日ヨリ三日見セルトノコトニ見ニ行ク様打電ス

▲▼378ページ▲▼ 大正9(1920)年12月18日(土)

天気 雨

入浴後中山氏ヲ訪フ 共ニ西店ニ行キ社團法人トシテノ承認ヲ得金貳千五百円ヲ借り今夜出発スルコトニス 本店ニモ立寄り万事依頼ス 竹島ヘモ挨拶ニ行ク 夜兄ト裏ニテ馳走ニナル 大ニヨツテ出発ス 伊セヘハ夜ノ汽車ナク東京ヘ直行ス

▲▼379ページ▲▼ 大正9(1920)年12月19日(日)

天気 晴

九時着 鳥飼ニ行ク 大坂ニテ決定ノ話ヲナス 承認ヲ得テ帰ル
帰宅晝食後工場ニ行ク 帰ツテ大坂中山外数名ニ手紙ヲ書ク 夜佐野稻垣ニ経過ヲ語る

▲▼380ページ▲▼ 大正9(1920)年12月20日(月)

天気 晴

八時半ニテ上京 吉田氏不在 航空局ニ行ク 約一時間シテ鳥飼ニ帰ル 後藤帰京セリトノコト 電話カケシモ不在 根岸ヘ電話セシニ五平ヨリ話シ出来タル由 後協会ニ行キ來年度ノ予定ヲ聞ク 補修ヲ現金今年中ニヤリタイカラ主意同破損程度ヲ出シテ呉レトノコトデアツタ

内田对小栗ノ件ニテ四時迄鳥飼宅ニ居ル 小栗ニモ會フ 鳥飼氏本日北海道へ出発ノ予定 五時廿分ニテ帰ル

佐藤氏晝カラ待ツテ居タトノコト 貳千円手金受取り注文受書ヲ出ス

▲▼381ページ▲▼ 大正9(1920)年12月21日(火)

天気 晴

午前中出勤 練習生ノ事ヲ取極メ晝食後恵美十四號破損報告書ヲ作り川辺君ニ露國飛行家ニツイテノ返事ヲ出ス 三時四十分ニテ千葉ニ行キ根本ニテ買物ヲナシ徳永氏ヘ歳暮ト同時ニ報告書ヲ出ス。白戸ニ行ク 妻君ノ合同説ヲ聞ク 何ソノコトカサツパリハカラナカッタ

◆▼3882ページ◆▼ 大正9(1920)年12月22日(水)

天気晴

午前中研究所 兄ヨリ弍千五百円來ル スグ上京 秋田へ行き中山氏ノ手紙ヲ出シ金ヲ現金ニ還へテ貰フ。木材ノ買入レト支拂ヲナシ鳥飼ニ行ク 夕食後銀坐ニテ帳簿其他ノ買物ヲナシツバメノ支拂ニ立寄り十時ニテ帰ル

◆▼3883ページ◆▼ 大正9(1920)年12月23日(木)

天気晴

終日研究所 机ハ出來タノデ今日カラ事務ヲ取ル 大坂其他へ手紙出ス
夜久保田安岡ニ本所ノ方針ヲ話シ練習ノ打合せヲナス
本日全部ニ給料ト手當ヲ與ヘル

◆▼3884ページ◆▼ 大正9(1920)年12月24日(金)

天気晴

八時午前中研究所出勤 帳簿 手紙
正午ヨリ上京 佐藤へ弍百五十円支拂 竹田へ行き都筑氏へ弍百五十円手金渡シ鳥飼ニ行キホ式ロットメタル取替ヲ依頼 特種銅支拂ニ行ク 不在 鳥飼へ弍百五十円預ケル
森竹ニテ工具買入レ鳥飼ニテ夕食後帰ル
夕方後藤機ノ飛行ヲ見タ

徳永氏ヨリ電報ニテ明朝十時迄ニ協会へ越ラレタシトノコトデアッタ

◆▼3885ページ◆▼ 大正9(1920)年12月25日(土)

天気晴

七時半起床 佐野ニ會ヒ八時九分ニテ上京 車中徳永氏ニ會フ 今日ノ上京ハ破損機ノ代リニ何ヲ作ルカト云フコトヲ出スノデアッタ
白戸、小栗ニモ呉レルトノコトデアッタ

鳥飼ニ行キ時間ガアッタノデ航空局ニ北島氏ヲ訪フ ローンプistonヲ依頼シテ帰ル 白戸小栗來 鳥飼ト幸楽へ食事ニ行ク 白戸ト都筑氏ヲ訪フ 居ラズ 白戸ニツキ合ッテ 材木屋ニ行キツバメニテ夕食ヲナス 九時十分ニテ帰ル 夕食ノ時白戸ニ合同説ト本所ノ成功ヲ祝ウ

◆▼3886ページ◆▲▼ 大正9(1920)年12月26日(日)

天気 晴

稲垣氏午後帰ル

午前中出勤 後藤君帰国スルトノコトニ呼びニヤリ予定ヲ聞ク 大ニ領(ママ)解ヲ得晝食ヲ共ニスベク共ニ上京 開花ニ行ク 阪東氏ヲ呼ブ 五時頃迄ノム 交通飛行ノ目的ニ進ム予定 尚他ニ計畫スルモノアリ 大ニ対抗策ヲ説ケザルベカラズ 中山氏ヨリ手紙來 佐藤ノ分確定シテ呉レトノコトニ同氏モ呼び大ニ談ジ予定通り確定ス

二時頃カラノンダノデ大ニヨウ ツバメニ立寄り大ニメートルヲ上げ終列車ニ乗ル 千葉ニテ目ヲ醒ス ヤムヲ得ズ泊ル

◆▼3887ページ◆▲▼ 大正9(1920)年12月27日(月)

天気 晴風

上リ一番ニテ帰宅 再ビ寝ル 晝食後出勤 帳簿記入 大坂中山氏へ株割當額及住所氏名ヲ送附ス 夕食後スグ床ニ入ル

◆▼3888ページ◆▲▼ 大正9(1920)年12月28日(火)

天気 晴

朝工場出勤 十時ヨリ上京 佐藤ヨリ協会ニ行ク スグ金ヲヤルカラ白戸鳥飼、小栗ヲ呼ンデ來テ呉レトノコトデアッタ 丁度白戸來 鳥飼ヲ呼び請求書ト受取りヲ出ス 然ルニヒニ時間間ニ合ハズ明日トナル スグ來合セタル浜野氏同道富士見軒ニ行ク 先ヅ飛行士俱樂部ノ改正案ヲツクリ後チ航空忘年会ニ入ル 井上、長岡両中将以下十五六名デアッタ 八時終ツテ会谈アリ 余等ハ小栗、石橋等ト又銀坐ノ其カフエーニ紅茶ヲノミ終列車ニテ帰ル

◆▼3889ページ◆▲▼ 大正9(1920)年12月29日(水)

天気 晴

朝出勤 九時二十分ニテ白戸ト共ニ上京 協会ニテ金ヲ受取り飛行士俱樂部ノ發信事項ノ打合セヲナシ北尾君ニ依頼ス 小栗石橋モ会ス 鳥飼ニテ二時頃晝食後勘定ヲナス 白戸ト五時二十分ニテ千葉ニ行キ材木屋目積ヲサセ白戸宅ニ行キ奈良氏訪問ノ打合

セロナス

◆◆390ページ◆◆ 大正9(1920)年12月30日(木)

天気 晴

終日在所 諸支拂ヲナシ記帳

夕方小栗君來 ソツヒイズローンノ機体買イタイトノコト 夕食ヲ馳走ス 丁度白戸君
モ來 食後帰ル

◆◆391ページ◆◆ 大正9(1920)年12月31日(金)

天気 雪

朝カラ降り出シタ

八時半ニテ上京 車中白戸徳永氏ニ會フ

自動車ニテセールフレザーニ行キカーチスニ台千四百五十円ヅノニテ注文ス 馬詰ニ會
フ 鳥飼ニテ七百五十円借りテ白戸ノ分ト一所ニ手金ヲ渡ス 鳥飼ニ立寄り銀坐ニテ
買物ヲナシ一時頃奈良原氏ヲ訪フ 非常ニ嬉(ママ)ンデ夫妻共ニ打解ケタ スグ帰ル筈
ノ處酒ガ出テオンクナル 尚三日ニ何處カへ御招待スベク約束シテ戸田氏へ金時計一個
矢木氏協會隱退ニ付置時計一個贈ル 共ニ酒ヲ馳走ニナリテ帰途天下堂ニテ買物ヲナ
シ八時十分ニテ帰宅後オカザリヲナシ十二時過ギ床ニ入ル

◆◆392ページ◆◆ 補遺

大正九年度予定中陸軍仕事ヲ初メ得ザリシト山県ヲ失ヒシハ意感(ママ)ニ堪ズ

然シ高度、巨(ママ)離ニ於ケル民間レコードホルダータルコトヲ嬉(ママ)ビ來年度モスベテ
ノレコードホルダータルベシ

十二月ニ入り發展策成リ一月ヨリ一大活動ヲナシ得ルコト嬉(ママ)ブ

401～408 ページ

知人名簿

住所	電話	氏名	関係
大坂西区阿波座上通り三ノ一八六		中島直光	
岡山県津山町堺町 平井七次郎方		藤原正章	
京都寺町五條		久保田儀助	
東京府下亀戸町大字亀戸二一五一		日本セルロイト工業会社	
々		々 藤本雅彦	
遠州磐田郡十束村堀ノ内		村上新吉	広巾シート
朝鮮大邱府北内町		長谷工務所	貞三
大坂南区大和町四番地ノ一	ミナミ二二八〇	井上長商会	
神田美倉町	神田一五一八	桜井商店	
神田松下町十二	神田一五五〇	斎藤庄兵衛	
402 ページ			
大坂府下天王寺村大字天王寺村役場西隣		森田蓮舉事む所	新井源次郎
大坂市東区農人橋二丁目十七		中村基次郎	
本所北堅河岸	本所三〇一四	田辺酸素会社	
東京京橋区南金六町十五勸業ビルヂング	銀座七五三	日本ベニヤ製材会社	
麴町区八重洲町一ノ一 金属広業研究所		志賀潔	
高田馬場桂川変電所ノ裏		同人	
本所太平町一ノ一		矢島佐太郎	
東京日本橋区松島町水天宮停留所前		日新堂薬局 中沢家康	
大坂西区九條南通り二丁目一六七		大西工業研究所	
東京下谷区入谷町二〇二		分目文ノ助	
大坂西区南堀江上通二丁目二番地		中村手帳製造所	
403 ページ			
ハルビン北満憲兵隊長藤村成助殿方		川辺佐見	
大坂北区北野佐藤町	北一九七三	島津モーター製作所	
丸ノ内三菱三號館一号室	丸ノ内二九七	日本ベニヤ東京出張所	本局三二八八
東京京橋区築地三丁目一五 藤井辰雄方		大角房一	
東京府下千駄ヶ谷四八〇		日野熊蔵	
京都魚ノ棚通室町西へ入		安井莊次郎	

岡山市天瀬綱堀 ミドリ旅館		藤原正章	
釜山鉾山鈴子四三ノ六		照井利介	
日本橋本銀町二ノ五	本局四九三五	大川富三郎	振替東三八四四六
市外雑司ヶ谷亀原四四		橋本家蔵	
下谷中根岸三三		亀井直齊	
赤坂田町三ノ八	芝六五〇二 呼出し	井上武三郎	
404 ページ			
東京下谷金杉上町九 東洋飛行研究会		浅見富蔵	
秋田縣仙北郡金沢西根村		佐藤章	
向島百花園前		渡辺敏彦	
神戸市兵庫東尻池村字大竹		川西機械製作所	
東京市本郷区林町二一二		小林幸太郎	線帯
高知市九反田		鬼頭良ノ助	
四ッ谷塩町一ノ卅一		大江力	
石川縣能美郡板津村字高堂		高林澄月	
芝口二丁目十七	新二九九四	遠藤商店	
日本橋伊セ崎町二番地		田中カーバイト本店	
京橋元数寄屋町二ノ九	新二八九八	東京タイヤ商会	バルカナイド
405 ページ			
浅草区神吉町十一		沢谷ニユーム鑄造所	
京橋区本材木町三ノ三		大野宗太郎	鉄鋼商
銀座三丁目		橋本富蔵商店	レザー
日本橋区鉄砲町		洋白会社	
京橋松屋町三ノ一八		金枝鋳店	
日本橋区新葎町六番地 三河屋		松田松次郎	硝子屋
麻布飯倉四丁目停留所前		旭サンソ	
大連信濃町 吉兼方		伊藤輝子	
府下荏原郡平塚村一七二	高ナワー九二〇	都竹工務所	
京都市上京区下鴨町下河原町十四		宮崎帛市	
京橋区南大工町一番地	京橋五〇七	テーオー合金製作所	線帯
麻布区筈町百八十番地	芝七五七一	巨海省吾	リーム
406 ページ			
西区北堀江六丁目御池橋		阪東栄太郎	
東京市本郷区森川町一番地蓋平館		藤井甚太郎	
東区石町		藤井靖造	

高知市魚市場		鬼頭良ノ助	
東京本所新小梅町二番地五号		清瀧直四郎	プロペラ材
市外上目黒一二〇四 三〇七		奈良原三次	
府下渋谷町中渋谷六七九		馬詰駿太郎	
京都市下京区千本五條下ル 京都瓦斯 会社		斎藤敬太郎	
東京府下大崎町居木橋二二三		知覧健彦	
堺市甲斐町西四丁 重地方		兵頭ユヅル	
芝区南佐久間町二ノ一	芝五三四三	龍洋社	
407 ページ			
大坂西区新町通り三ノ六		青木照太郎	
芝琴平町二番地		日本航空通信社	
大坂府下中河内郡八尾町大字萱振		山下廣三郎	
千葉県古河町停車場東		佐藤商店鉄工所	
下谷区中根岸町三十三		亀井五郎	
北区梅田町三四九番地	北一六九九	弥重正商店	
川西工場ニテ		大西健三	
東京市下谷区中根岸町三十三		亀井五郎	
航空第一大隊第二中隊第二班		有賀友造	
東京本所小泉町三一 内田方		太田喜八郎	
小石川関口水道町二三 成田源内方		佐藤章	
赤坂田町七ノ六(立花方)		井上武三郎	
408 ページ			
鳥取歩兵第四十聯隊第二中隊		本郷寿	
盛岡市加賀野新小路十五 山田麻眞田 工場		照井謙次郎	
朝鮮羅南歩兵第七十三聯隊		大藪利三郎	
各務原航空第一大隊第一中隊第二班		小林林助	
478 Antoinette Ave. Detroit. Mich		山県政夫	

▲▼挟み込み絵葉書-表▲▼

LOOKING EAST FROM WOOLWORTH TOWER AT NIGHT, NEW YORK.

▲▼挟み込み絵葉書-裏▲▼

Mr.O.Ito

Tsudanuma,

Chibaken,

Japan.

千葉縣ツ田沼海岸

伊藤飛行機研究所御下

DETROIT

DEC 3

12 PM

1920

MICH.

ADDRESS DETROIT MAIL

TO NEW STREET NUMBER

JANUARY 1, 1921

拝啓其後御無沙汰に打過

し居り候處小生事四五日前

漸く当地に落き申候間御

安神被下度 当分の間下記

の處を住所と相定め居り候

478 Antoinette Ave. Detroit, Mich. 山縣

十二月三日

▲▼挟み込み写真▲▼

航空神社

十月卅一日 鎮坐祭

十一月一日 大祭

▲▼挟み込みチラシ▲▼

大東亜觀音讚仰會

6月12日午後0時半

九段・軍人會館

印度パーラ王朝時代の觀世音像